			事系	8事業マ	'ネジメント	シー	- - ((兼 事系	务事業コ					
	事系		<u>No.</u> 1		下水道施記	没維	寺管 耳	里事業		←実施記 策	一世の重点	施 重点施策 ら該当項	に該当する場 目を選択して	
	J	汝策名	No. 4		4 ま	ちを	つくる	·)	j	•	都市整備音			下水道課
	力 力	 拖策名	No. 27		施策27	下水	道の塾	 整備	j	· 所属係	下水道工務	係 課長	名 佐伯	喜重郎
		 算科目	会計 下水		頁 目 2 0 1 2		(⊐−)			 法令根拠 下	水道法 第3	 条第1項(管理	1)	
		 事業期間	11/18	単年度			単年度		<u> </u>	期	間限定複数年原		年度)
			な手順、詳細。期間)の維持管理のため				— — 述)					<u>年及~</u> つ、どのような		
南運業費は 中転費を 現事手及の 成内プリ	継ポンプ 管の内用 は悪しい は悪しい は悪い は悪い は悪い は悪い は悪い で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	『場の維持管理(持管理、電気工 (光熱水費)、原 つ、ポンプ場の (PLAN)(DO) 目的と指標 助) 績(平成26年度 通報により管きよ 管理(維持管理	よのしゅんせつ委託 のための委託(年間3 作物、警備)の委託 (材料費、役務費、委 (材料費、役務費、委 運転管理委託及び初 に行った主な活動) のしゅんせつ委託及 のしゅんせつ委託及 のしゅんせつ委託及 のしゅんせつ委託及 のしゅんせつで要託 のしゅんせつで要託 のしゅんせつである。	委託)及び補及び補修工事 活料、工事 前修工事にす び補修工事 び補修工事	修工事を行う事事をする。 ポン請負費 を出される。		は平成		始					
対象 内の4 ヒ下オ	公共下水 K道利用 (どんな)	道施設(管きょ、 者 吉果に結び付け	のか)* 人や自然資 ます、ポンプ場) るのか) は成の水質汚濁を防」							によって、対: メやかに流れ <i>。</i>	象をどう変える るようにする。	5のか)		
各指	票等の推			# TL		Ι.,	v / I	平成23年度	平成24年度	目平成25年度	T 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
	項		ハ # ハン //	名称	U-77 F 1		받깐	(決算)	(決算)	(決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	. — . —	左領 (B)-(A)
) 手	段	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	公共下水道管き 南部中継ポンプ				m、件数 件数		7169m,254	F 8304m,3014 3 1	8460m、22件 2	8500m、30件 2		
)対	象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	市内の公共下が水洗化人口			ア イ	m 人		187,49′ 74,38′	1 74,303	74,546	74,546		
意	Z	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	巡回及び通報に			アイ	%		100	0 100	100	100		
) 結	果🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)	雨水整備率(雨 放流水質のBO				% mg/l							
事務	事業コス				/ J/3 <u>-</u> _ /	1 .1	0, -	亚式00左连	東京4年度		1. 元代の左座	一丁の7年度	口捶左车	辛姑
			項目 		1 3/4		単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
			<u>1</u> 1.	規職員従事. 延べ業務時	人 <mark>釵</mark> 間		人 時間		3 5,400		5,400	5,400		(
	\ 1−4	系るコスト	再任	職員人件費 E用職員従事	人数		<u>千円</u> 人		27,000	27,000	27,000	27,000	0	
	ΛIC!	ボるコンド	再任用	延べ業務時 月職員人件費	計(D)		時間 千円		0	0	0	0	0	
			嘱	託職員従事. 延べ業務時	人数 謂		人 時間							
			嘱託	職員人件費 係るコスト記	計(E)		千円		27,000	U	0 27,000	0 27,000	0	
			ΛIS	- 1ボるコ <u>ヘト</u> 6 物件費 うち委詞			<u> </u>		41,000	21,000	21,000	21,000	0	
	物に係	系るコスト		カララ 妥語 維持補修費			千円							
			物に	係るコスト計	(G)		千円		0	0	0	0	0	
				扶助費 補助費等			千円							
	移転支出	出的なコスト		繰出金 その他			千円 千円							
\vdash			移転支	出的なコス	>計(H)		千円		0	0	0	0	0	
	₹	- の他	支出計(I)=(F)+(G)	その他 +(H)			千円		27.000	27,000	27.000	27.000	0	
				• (17)					27,000	27,000	27,000	27,000	U	
Z			国庫支出金 都支出金				千円 千円							
、			分担金及び負担 使用料及び手数				千円 千円							
j			操入金 その他				宇用 千円		36,244 33,321	40,045 41,069	47,585 49,992	49,345 49,663		7,54 8,92
			収入計(J) 収支差額(K)=(J)−(I)			千円		69,565 42,565	54,114	97,577 70,577	99,008 72,008	0	16,463 16,463
			一般財源投入割合				%		-1589		-261%	-267%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	評価、ただし複数年度事業は途中記	平価	
公	① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下に		善 方向の部に反映
共即			理由を記入】 の義務であり、浸水防止及び河川の水	で四尺をにもかるので平当である
与	らないのか?税金を使う必要がある	ム	グ 義治 くめが、仅 小例 正 次 ひ 刊 川 いっか	質体主にもなるので安日である。
性	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行			
一価	う事業か、それとも市が行う事業か?			
Н	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある ⇒【以下に	理由を記入】 ⇒3 改革・改善	
		□ 向上余地がない ⇒【以下に	理由を記入】	
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は	20 / T	きている。 、発生対応型から予防保全型の維持・	管理計画を筆字することに FM さたか
	ないか?何が原因で成果向上が期待	る成果向上を目指す。	、発生対応室から了対保主室の維持	目性計画を承足りることにより、さりな
	できないのか?	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記』	入】 ⇒3 改革・改善方向の部に原	支映
右	 事務事業を廃止・休止した場合の影響	✓ 影響有 ⇒【その内容】 経在で下水道の利田を進めれば	詰まり、陥没等が発生し、適切な下水	処理ができなくなってしまうため 木
ᇭ	の有無とその内容は?(そもそも、この		K及び公共水域の水質汚濁につながる	
性	事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)			
評価				
"				
	④ 類似事業との統廃合・連携の可		りな手段、事務事業)	
	能性			革・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	・ 統廃合・連携ができない =	⇒【以下に理由を記入】 理由を記入】	
	【廃合ができるか?類似事業との連携を	庁内に類以事業けない		
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市の道路排水施設(雨水ます)の	管理については検討する必要がある。	
活	┃ 動指標・対象指標・成果指標の推移	▲ 、公共関与性評価、有効性評価か	ら見たこの事務事業の課題は?	
	 召和46年頃整備した施設が老朽化し			
	南部中継ポンプ場が平成元年に稼働			
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保)余地があ	る ⇒【以下に理由を記入】 =	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	保余地	事業費削減(歳入確保)余地がな		
			†応してきたが、今後は予防保全型の約 ノプ場では建物、機械設備、電気設備	
効	力など)	(カンノ 場は主前安託している。か、 (コストが進む。	2.7 % Cは建物、機械設備、电X設備	、小貝の小牛組付において、一板の
	さらなる歳入を確保できないか?	①長寿命化整備計画(ポンプ場・	管きょ)②下水道地震対策整備計画	
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地			善方向の部に反映
			理由を記入】 け応してきたが、今後は予防保全型の約	維持管理計画を策定するための専門
	できないか?成果を下げずにより正職	知識のある人材が必要である。	THE COLUMN THE PROPERTY OF	
	┃員以外の職員や委託でできないか? ┃(アウトソーシングなど)		気設備、水質の水準維持において、経	X験を積んだ専門技術者のJウハウが
		重要となってきている。委託だけに	- 棋つてはいりない。	
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	見直し余地がある ⇒【以下に	理由を記入】 ⇒3 改革・改善	善 方向の部に反映
公		✓ 公平・公正である ⇒【以下に	理由を記入】	
平	事業の内容が一部の受益者に偏って	負担者と受益者がほぼ同じであり	、利用者からは利用量をいただいてお	り、不公平にはなっていない。
性	いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?			
価				
	務事業コスト、効率性評価、公平性			
	共施設のマネジメントを進めるなかて により増加傾向にあるので予算の平		回をLCCを考慮したなかで策定しなけ ソ票でなる	ればいけない。かつ、事業費が老朽
15	により増加傾向にめるので了鼻の平	華化を考え、専門技術者の配直が	心安である。	
	評価結果の総括と今後の方向性(欠年度計画と予算への反映)(ACTI		
(1)) 1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)・管きょについて経年劣化により流	出障害が発生し、悪臭等の原因とも
	① 公共関与妥当性 🗾 適	□ 見直し余地あり	なっており、更新、改築が必要となっ	ってきている。
	② 有効性	切 ✓見直し余地あり	・南部中継ポンプ場・管きょの更新、	、改築が必要である。
	<u></u>	<u>—</u>		
	③ 効率性	<u>—</u> ,		
	④ 公平性 ☑ 適	[切 見直し余地あり		
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案			(4) 改革・改善による期待成果
	廃止	合・連携 ノ 事業のやり方改善(有効 事業のやり方改善(公平性改善)	70性改善)	(廃止・休止の場合は記入不要) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	現状維持(従来通りで特に改革改善をし			削減 維持 増加
		宣害が発生し、悪臭等の原因ともなった。	っており、順次更新、改築の予防保全	向
	維持管理計画が必要である。 育部中継ポンプ場・管きょの更新、改	筑が立西でなる		上
1.14	日印千極のファ勿・目でより文材、以	米が必安である。		成維 果持
				低
				下
) 改革, 改善を実現する上で解決す。			
	防保全型維持管理計画を進めるに 保できないときは業務委託も検討す		た技術者を確保する必要がある。	
中庄	rr くいなべてのは木幼女礼も供削り。	∞0		
(6)) <日標達成基準 - 見店 ・		れば目標が達成されたことになります	か。また、見直し、盛止とかりますか?
	水道施設の維持管理を市で行わなり			<u> </u>

			務事業マネジメント '				第一		昇<i>書)</i> ^{拖計画上の} 重点	佐 舌上状体	ニーニナル・ナフェ	旦△ --/
事	務事業名	No. 2	府中市都市下	水路	維持	管理事業		←美/ 策	也計画上の里点		に該当する。 目を選択して	
J	政策名	<u>No.</u> 4	4 また	ちをつ	つくる)	j	所属部	都市整備部	形属	課 道路	下水道課
t.	 施策名	No.	施策27	下水	道の塾	 整備	j	所属係	下水道工務	係 課長	名 佐伯	喜重郎
	 ·算科目		款項目	事業	コード	,,,,,,,,,,,,,		 法令根拠	地方自治法第2	 252条の14		
J.		下水	0 1 0 1 0 2 2 0 0 4 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0	0 0 •	0 6 単年度	0 0 繰返		72 13 12 12	期間限定複数年			
な車 業の 郷 亜	事業期間	北手順 詳細 期 問	 限定複数年度事業は全体像	た記さ	<u>—</u> —				→(昭和58 引始した経緯(い	年度 ~	年度	
中市と国立市 け中市と国立市 託名 第四者 直設名 第四者 費(維持管理 順) 府中 ・質内訳)下水	示との間の都市下 市で定めた維持特 路市下水路清掃 部市下水路(谷保 豊費)納入につい 市より次年度予	「水路事業の事務委 管理負担割合でそれ 委託 民第2排水区・西部第 ては、当該年度によ 算計上の依頼→第1		を府中 実施-	□市の	請求に基づき	の納入					
 現状把握の音	形(PLAN)(DO)											
事務事業の 手段(主な活												
戓26年度の実		に行った主な活動)										
	業計画(平成27 清掃業務委託	年度に計画している	5主な活動)									
対象(誰、何を 水排水	を対象にしている	のか) * 人や自然	查源等						対象をどう変える た土砂等を搬出		宏水の確保な	・オストレが
						きる。	307信邢安市	七〇年傾し	こ上が寺を掀山	9 0-21-291	元人の発生する	5 9 DEEN
	結果に結び付け 水及び公共用水	るのか) 域の水質汚濁を防	止することができる。									
各指標等の推				I	1	亚战22左帝	立式の4年中	目 並 武のこと	■度 平成26年度	立式07年中	日堙左帝	差額
項	目		名称	単	单位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	(決算)((決算)(- 没 平 成 20 平 没 A) (決算見込み)(B)	(当初予算)	日停平度 (目標値)	左領 (B)-(A
手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	負担金額		ア	千円			0	0 (1,000		
110	指標)	\+ = 77 E		1								
対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	清掃延長		ア	m			0	0 (50		
	成果指標(対象	負担金額		1 ア	千円			0	0 (1,000		
意図 🗬	における意図の達成度を表す指標)	克巴亚族		1	1 1 1			<u> </u>		1,000		
/ +⊞ →	上位成果指標	雨水整備率(雨	水処理面積/計画面積	×ア	%							
結果 🗬	(結果の達成度を表 す指標)		D値(水質汚濁量)		mg/ℓ							
事務事業コス	トの推移				24 /L	平成23年度	平成24年度	₹ 平成25年	■度 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
1		項目 	規職員従事人数		単位	(決算)	(決算)		A) (決算見込み)(B)		(目標値)	(B)-(A
		<u></u>	^{祝戦員化争入数} 延べ業務時間		人 時間		16		1 18 18	18 18		
			職員人件費計(C)		千円		80		90 90	90	0	
人に	係るコスト	再任	壬用職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
		再任月	用職員人件費計(D)		千円		0		0 0	0	0	
		鳴	託職員従事人数 延べ業務時間 職員人件費計(E)		時間							
		嘱託	職員人件費計(E) に係るコスト計(F)		千円		0 80		0 0 90 90	0 90	0	
			物件費		千円		00		90 90	90	U	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円					1,000		
130101	M 0-21											
			ニ係るコスト計(G) 扶助費		千円		0		0 0	0	0	
10 ±− +-	யம் <i>†></i> ு ு !		扶助費 補助費等 繰出金		千円							
1夕牧又)	出的なコスト		その他		千円							
			支出的なコスト計(H)		千円		0		0 0	0	0	
7	その他	支出計(I)=(F)+(G	その他)+(H)		千円		80		90 90	90	0	
			/···//				00		30	90	U	
		国庫支出金 都支出金			千円 千円							
		分担金及び負担	<u> </u>		千円							
j		使用料及び手数 繰入金	[料		千円 千円							
		標入並 その他			千円							
		収入計(J)			千円		0		0 0	0	0	
		収支差額(K)=(J)-(I	1)		千円		-80	-	90 -90	-90	0	
		一般財源投入割合			%		100	% 10	00% 100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後	評価	ただし複数年度事業	は途中評	価			
公	① 公共関与の妥当性		見直し余地がある ⇒	【以下に理	里由を記入】	⇒3	改革•改善方向(の部に反映
共	なぜこの事業を行政が行わなければな	第	都市下水路は行政が		閏由を記入】 。公共下水道	として谷保第	2排水区の雨水	が流出していることから市が行
性	らないのか?税金を使う必要がある か、民間や受益者ができる事業か?か	う事	びまである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
	つ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?							
-	② 成果の向上余地				■由を記入】	⇒3	改革•改善方向(の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果				■由を記入】 <両市相互の	協力関係の1	1つであり 協定内	R容については現状で十分な
	の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待		容と考えられる。	/yL/L(C&	DI 1114 H TT 42			
	できないのか?							
	③ 廃止・休止の成果への影響		影響無 ⇒【以下に理 影響有 ⇒【その内容		.] ⇒3 ट	收革·改善方	向の部に反映	
有	事務事業を廃止・休止した場合の影響	国	立市内の一部排水区の	の雨水を自	然流下により	第4都市下	水路に流出してい	いることから現段階では事業廃
h/4-	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に	止.	休止は基本的に考え	ていない。				
評	役立っているか?)							
価								
	④ 類似事業との統廃合・連携の可 能性		他に手段がある 統廃合・連携ができ		な手段, 事務 【以下に理由		一一	 善 方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以		・ ・ ・ 連携ができる。	ない ⇒	【以下に理由		→3 战革 战	5万円の即に及吹
	外他に方法はないか?類似事業との納 廃合ができるか?類似事業との連携を		他に手段がない ⇒ 以はない。	【以下に理	∄由を記入】			
	図ることにより、成果の向上が期待できるか?		>11.0x1.0x1.0x1.0x1.0x1.0x1.0x1.0x1.0x1.0					
活	I [∞] 動指標・対象指標・成果指標の推移	、公	共関与性評価、有効性	生評価から	見たこの事剤	8事業の課題	は?	
H	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確		事業費削減(歳入確保)	全地がある	⇒【以下に刊	申を記入	⇒3 ₹±	
	保余地		事業費削減(歳入確保)	余地がない	→【以下に理	毘由を記入】		
	成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協	両 i	†間での協定により清	帝委託の	負担割合が定	められている),	
効率	カなど) さらなる歳入を確保できないか?							
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減				里由を記入】	⇒3	改革·改善方向(の部に反映
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	台:	削減余地がない ⇒ 担金のみで人件費の払		■由を記入】 れている			
"	できないか?成果を下げずにより正職	, A	5000000000000000000000000000000000000	hilli Ware	40 (4 .00			
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)							
	 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化			F 151 T 1 = Ti	₽ <i>+++</i> =7.3 1	-10	改革•改善方向(↑ † - □
公	余地	~			型由を記入】 型由を記入】	→ა	以单"以普万间(刀部に及 吹
平	事業の内容が一部の受益者に偏って	-	入面積を負担割合で定			Eであると考;	えられる。	
性	いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?							
価								
L				·				
事	務事業コスト、効率性評価、公平性	評価	から見たこの事務事業	きの課題に	<u>t?</u>			
	評価結果の総括と今後の方向性() 1次評価者としての評価結果	次年	度計画と予算への反映	央)(ACTIC	N) (2) 全体総括		巨少占)	
(1,								有効適切に維持管理をする。
	① 公共関与妥当性 🗾 適	1切	見直し余地を	あり				
	② 有効性 🔽 適	切	見直し余地を	あり				
	③ 効率性 🗾 適	切	■見直し余地を	あり				
	④ 公平性	i切	見直し余地	あり				
(3)) 今後の事 <u>業</u> の方向性(<u>改</u> 革改善案							枚革・改善による期待成果
	廃止 休止 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善)		堕携 ┃ ┃事業のやり方 事業のやり方改善(公平		性改善)		(廃」	上·休止の場合は記入不要) 【・・・・ コスト コスト コスト
	現状維持(従来通りで特に改革改善をし	ない)	14467				・・・ 削減 維持 増加
州	中市と国立市との協定を今後も継続	さして	()< _°					向
								成維 果持
								低
								F X X
		. ·	-mar /a+\	_				
(5)) 改革, 改善を実現する上で解決す。	へき	課題(壁)とその解決第	₹				
L								
(6) 筆) < <u>目標達成基準,見直し・廃止基準</u> 4都市下水路がなくなるか、行政管	単と	この事業はどのような [。] 行わない場合 現状け	犬態と <u>なれ</u> 無理であ	uば目標 <u>が達</u> る。	成されたこと	になりますか。また	た、見直し・廃止となりますか
			2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.		- -			

事務事業マネジメントシート (兼 事務事業コスト計算書)

			尹 4	サー・インアント		_ ^	(水 事が	7 尹 禾 -						
	事	務事業名	<u>No.</u> 5	下水道	関係	統計	事業		←写 策	ミ施 計	一画上の重点が	施 重点施策 ら該当項	に該当する場 目を選択して	
	ī	政策名	No. 4	4 ま	ちを	つくる	<u></u>		所属部	-	都市整備部			下水道課
	Ţ.	 施策名	No. 27	施策27	下力	·道の	 整備		所属係	干	水道業務	係 課長	名 佐伯	喜重郎
	予	 ·算科目	会計	款具項目	事	業コー	ř		法令根拠	<u>n</u>				
		—————— 事業期間		単年度のみ	<u> </u>	単年度	医繰返	ļ		期	間限定複数年度		左 莊	`
		(事業の具体的 道事業を執行す		限定複数年度事業は全体像 庁及び地方公共団体等より紛			依賴				\	<u>年度 〜</u> つ、どのような	年度 ☆経緯で開始	
調査	が発 調査	信元である。		まとんどの調査が東京都経由するものもあり、調査の回答に										
		(PLAN) (DO)												
① 手	移事業のE 段(主な活 26年度の実	動)	に行った主な活動)											
平成:	27年度の事	業計画(平成27	年度に計画している	主な活動)										
国及`	び東京都		のか) * 人や自然資	源等				図(こ の事 重事業の数			象をどう変える できる。	oのか)		
市内:	全域で、浸え)把握により、下	るのか) 域の水質汚濁を防」 水道事業推進の一即	とすることができる。 カとなる)										
	項			名称		単位	平成23年度 (決算)	平成24年 (決算)		年度)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
1	手段 🔷	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	統計等調査の件	-数	ア イ	件		ļ	50	50	50	50		
2	対象	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	東京都		ア イ	件件			5 5	5 5	5 5	5 5		
3	意図 🔷	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	統計等調査の回]答件数	ア イ	件			56	56	56	56		
	結果 🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)		水処理面積/計画面積 D値(水質汚濁量)	×ァ ィ	.4								
3)事	務事業コス	トの推移					平成23年度	平成24年	度 平成25	<u></u>	平成26年度	平成27年度	┃目標年度	差額
			項目 T:	現職員従事人数		単位人	(決算)	(決算)	(決 算)	(A) 4	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
				が 近べ業務時間		時間		41		410	410	410		0
			正規	職員人件費計(C) 用職員従事人数		千円 人		2,05	0 2	,050	2,050	2,050	0	0
	人に	系るコスト	再任用	延べ業務時間 月職員人件費計(D)		· 八 時間 千円			0	0	0	0	0	0 0
			嘱	托職員従事人数 延べ業務時間		人 時間								0
支出			嘱託	職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円 千円		2,05	0 0 2	0 ,050,	0 2,050	0 2,050	0	0
出内訳				物件費うち委託料		千円 千円								0 0
九	物に	系るコスト		維持補修費		千円								0
ŀ			物に	係るコスト計(G) 扶助費 補助費等		千円 千円			U	0	0	0	0	0
	移転支持	出的なコスト		繰出金		千円 千円 エ田								0 0 0
			L移転支 	その他 出的なコスト計(H)		千円			0	0	0	0	0	0
		- の他	支出計(I)=(F)+(G)	その他 +(H)		千円		2,05	0 2	,050	2,050	2,050	0	0
			国庫支出金			千円		2,00		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	2,000	2,000		0
収			超岸文出並 都支出金 分担金及び負担			十円 千円 千円								0
入内			使用料及び手数			千円								0
訳			繰入金 その他			千円千円								0
		1	収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I)			千円		-2.05	0	,050	0 -2.050	0 -2.050	0	0
		ı	仪文差額(K)=(J)−(I <u>)</u> 一般財源投入割合	,		十円 %		-2,05 100		,050 100%	-2,050 100%	-2,050 100%	#DIV/0!	0

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	評価、ただし複数年度事業	は途中評価	
公共	① 公共関与の妥当性		√【以下に理由を記入】 →【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
関	なぜこの事業を行政が行わなければな らないのか?税金を使う必要がある	市が行っている事業につ	いての調査なので、公共関与に	は妥当である。
性	か、民間や受益者ができる事業か?か	当市の下水道事業の整備	用の一切となる。	
一個	つ、行政が行うとした場合、国・都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?			
	② 成果の向上余地		【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果		【以下に理由を記入】 性のあるものについてはすべて	回答しており、成果の向上余地はなし。
	の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待			
	できないのか?	日/銀布 - プリー・エーエ		**
1.	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理じますが影響有 ⇒【その内容	字】	善方向の部に反映
ゕ	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この	国及び東京都が数値を排	巴握できなくなる。	
性	事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)			
価				
	▲ ④ 類似事業との統廃合・連携の可	┃	(具体的な手段,事務事業)	
	能性目的を達成するには、この事務事業以	統廃合・連携ができ 統廃合・連携ができ	る ⇒【以下に理由を記入】	
	外他に方法はないか?類似事業との統	む 他に手段がない ⇒	以下に理由を記入】	
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき			
活	<mark>るか?</mark> 動指標・対象指標・成果指標の推移		性評価から見たこの事務事業 <i>の</i>) 課題は?
<u>//-1</u>				preservi
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確 保余地		余地がある ⇒【以下に理由を記 余地がない ⇒【以下に理由を記	
	成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協		West or National City	
効	カなど)			
	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
評	余地やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✓ 削減余地がない ⇒	【以下に理由を記入】	
"	できないか?成果を下げずにより正職	取似成の八件質で行う	. V 'る。	
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)			
\vdash	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	目古! 仝地がもス →	プロホル理由を記入 】	→2 小芝 - 小美士向の部に長時
公	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地		・【以下に理由を記入】 ・【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
公平	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って	✓ 公平・公正である ⇒	【以下に理由を記入】 【以下に理由を記入】 て対応しており、公正である。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性	余地	✓ 公平・公正である ⇒	【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	✓ 公平・公正である ⇒	【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒必要性があるものはすべ	【以下に理由を記入】 て対応しており、公正である。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	✓ 公平・公正である ⇒必要性があるものはすべ	【以下に理由を記入】 て対応しており、公正である。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒必要性があるものはすべ	【以下に理由を記入】 て対応しており、公正である。	⇒3 改革・改善方向の部に反映
平性評価 事 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(?	✓ 公平・公正である ⇒必要性があるものはすべ評価から見たこの事務事業	【以下に理由を記入】 て対応しており、公正である。 業の課題は? 映)(ACTION)	
平性評価 事 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2 1次評価者としての評価結果	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 評価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反	(以下に理由を記入]	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 評価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反	(以下に理由を記入]	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2 1次評価者としての評価結果	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 評価から見たこの事務事 次年度計画と予算への反 切 □ 見直し余地	(以下に理由を記入]	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 評価から見たこの事務事事 次年度計画と予算への反映 が 見直し余地	(ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったものであり 成果の向上余地はたあり。	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性	✓ 公平·公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 以	(以下に理由を記入) で対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2) 全体総括(振り返 依頼のあったもので 成果の向上余地はた あり あり	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3 (1)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ④ 公平性 ☑ 適	✓ 公平·公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 以	(以下に理由を記入) で対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2) 全体総括(振り返 依頼のあったもので 成果の向上余地はた あり あり	 返り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、
平性評価 事 3 (1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 力強 ② 本の表表 ○ 本の表表 ○ 本の表表表表 ○ 本の表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ で	(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3(1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ② 必率性 		(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加
平性評価 事 3 (1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 事業が廃 事業のやり方改善(効率性改善) 		(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	図り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3(1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 事業が廃 事業のやり方改善(効率性改善) 		(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「・休止の場合は記入不要) 「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事 3(1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 事業が廃 事業のやり方改善(効率性改善) 		(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3 (1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 事業が廃 事業のやり方改善(効率性改善) 		(以下に理由を記入) て対応しており、公正である。 (文)(ACTION) (2)全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり。 あり、あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。 あり、あり。	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、はし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「ベー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事 3 (1)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり あり あり あり あり あり あり あり あり	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3 (1)	 余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 対率性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 事業が廃 事業のやり方改善(効率性改善) 	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり あり あり あり あり あり あり あり あり	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3 (1)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はなあり あり あり あり あり あり あり あり あり	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3 (1) (5)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者自担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ 別面し余地が 見直し余地が 見直し余地が 見直し余地が 別面の 見直し余地が 別面の は切り 別面の は切り 別面の はずで でき 選択可合・連携 のやり方改善(公平ない) でき 課題(壁)とその解決 がき 課題(壁)とその解決 がき 課題(壁)とその解決 がき にいき かい	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はがあり あり あり あり あり あり あり あり あり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水
平性評価 事 3 (1) (5) (6)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者自担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はがあり あり あり あり あり あり あり あり あり	区り、反省点) 必要性のあるものについてはすべて回答しており、 なし。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事 3 (1) (5) (6)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者自担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒ 必要性があるものはすべ 必要性があるものはすべ 要性があるものはすべ	(以下に理由を記入) (文) (ACTION) (2) 全体総括(振り返依頼のあったもので成果の向上余地はがあり あり あり あり あり あり あり あり あり	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水水

			事系	務事業マネジメント	シ	<u>-</u> ト	(兼 事	務事業⊐					
	事	務事業名	No.	東京都総合治水	対針	策協諸	議会参画事業	€	←実施詞 策	一		に該当する場 目を選択して	
	<u> </u>		No. 4	4 ま	ちを	つく	る <u></u>		所属部	都市整備部			下水道課
	ħ	施策名	No. 27	施策27	下力	k道σ)整備	i	所属係	下水道工務/	係 課長	名 佐伯	喜重郎
	予	·算科目	27 会計 下水	款 項 目 0 1 0 1 2 1 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		業コー) 0			法令根拠 汽	川法	·	•	
		事業期間	,	単年度のみ		単年				間限定複数年 → (平成8年		年度)
				限定複数年度事業は全体値 治水対策を推進するために、			係区市町村で		の事業を開始	出した経緯(い	つ、どのような		
東京 目 組 負担	都治水対策 的:水害のが 織:東京都 金:各局10	協議会を発足 ない街づくりのた 都市整備局、建 万・各区部10万	とめ総合的な治水対 設局、下水道局・23 ・各市5万(内3市は	策の推進を図る。 3区・30市町村で構成。									
1 <u>現</u> 1) 事 1) 手 で成	状把握の音 務事業の目 段(主な活 26年度の実	『(PLAN) (DO) 目的と指標 動) 績(平成26年度	的に展開し今後の協										
見学 協議 F成 6年	会も好評なの 会ホームペー 27年度の事 度と同様	ので今後も実施 一ジの随時更新 業計画(平成27	していく。		の作品	成をす 	③ 意			象をどう変える	のか)		
	果(どんな約	結果に結び付け 水及び公共用水	るのか) :域の水質汚濁を防」	止することができる。			雨水	流出抑制施記 	投への理解とt 	岛 力 			
2)各	指標等の推	:移											
	項	<u> </u>		名称		単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	▼成25年度 (決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
1	手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す _{指標)}	協議会の会議回	回数 	ア	7 回			1	1	1		
2	対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	幹事会の参加回	可数	7 ア イ	7 回			4 4	1 4	4		
	意図 🗪 結果 🖈	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標) 上位成果指標 (結果の達成度を表				/ % / %	0	10	4 2 0 100	100	100		
3)事	務事業コス	^{す指標)} トの推移		/U個(小貝/5/)	1	IIIg/							* ##
			項目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	扫咖品公布上数		単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度(目標値)	差額 (B)-(A
				規職員従事人数延べ業務時間		時間		10			10		
	人に	系るコスト	再任用	職員人件費計(C) E用職員従事人数 延べ業務時間 用職員人件費計(D)		千円 人 時間 千円]	50		0	50	0	
			嘱:	託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
支出			嘱託	職員人件費計(E) に係るコスト計(F)		千円 千円	1	50			0 50	0	
内				物件費 うち委託料		千円 千円]						
訳	物に作	系るコスト		維持補修費		千円							
			物に	三係るコスト計(G) 扶助費 補助費等		千円	1	С	0	0	0	0	
	移転支出	出的なコスト		繰出金		千円 千円]						
			移転支	その他 を出的なコスト計(H)		千円]	50 50			0	0	
	₹	の他		その他		手円							
			支出計(I)=(F)+(G)			千円		100	100	100	50	0	
			国庫支出金			千円							
収入			都支出金 分担金及び負担 使用料及び手数			千円]						
内訳			使用料及び手数 繰入金			千円]						
`						千円							
		I	収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I	()		千円		-100	-100		-50	0	
			一			0/6		100	% 1000	100%	100%	#DIV/01	

2 公	評価の部 (CHECK) * 原則は事 ① 公共関与の妥当性			業は途中評 ⇒【以下に理		⇒3	3 改革·改善;	方向の部に反映	
共関与性評	なぜこの事業を行政が行わなければらないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か? つ、行政が行うとした場合、国・都が	か 行		⇒【以下に理る る組織のた					
	う事業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	✓ 向上余地	!がある :	⇒【以下に理	理由を記入】	⇒3	改革・改善	 方向の部に反映	
	成果を向上させる余地はあるか?成の現状水準とあるべき水準との差異ないか?何が原因で成果向上が期7できないのか?	■ 向上余地 注果 公共施設へ は ことを拡充す	がない : の働きで雨	⇒【以下に理 水流出抑制	毘由を記入】			更なるPRをすること	で民間にできる
有効性	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影の有無とその内容は?(そもそも、こ事業は、施策の目的や公益の増進し役立っているか?)	の 小I でもかく	⇒【その内 豪雨(ゲリラ	豪雨)によ		雨に対応す	向の部に反じるため本事第	映 美は進めなければな	らない。水害を
	④ 類似事業との統廃合・連携の 能性 目的を達成するには、この事務事業 外他に方法はないか?類似事業との 廃合ができるか?類似事業との連携 図ることにより、成果の向上が期待で るか?	が	合・連携ができ 合・連携ができ さがない :	きる ⇒ きない ⇒ ⇒【以下に理	な手段, 事務: 【以下に理由 【以下に理由 担由を記入】 ことで成果の	を記入】 を記入】		・改善方向の部に反	芝映
活	動指標・対象指標・成果指標の推	移、公共関与性	主評価、有刻	性評価から	見たこの事剤	务事業の課 題	低?		
効	⑤ 事業費の削減余地・歳入の研保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できなか?(仕様や工法の適正化、住民の力など) さらなる歳入を確保できないか?	✓ 事業費削 :い 各自冶体の]減(歳入確保	と)余地がない	。⇒【以下に理 ・⇒【以下に理 業であるので!	関由を記入】		3 改革・改善方向 <i>の</i>	部に反映
·性評価	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削できないか?成果を下げずにより正員以外の職員や委託でできないか?	✓ 削減余地 減 当該事業は 職 い。	!がない :	⇒【以下に理 ⇒【以下に理 握や流域住	里由を記入】			方向の部に反映 な業務であるため肖	減の余地はな
公	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	✓ 公平·公ī	正である :	⇒【以下に理 ⇒【以下に理	里由を記入】			方向の部に反映	
性	事業の内容が一部の受益者に偏っないて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	で 治水事業は 旦 る。	、市内全域	で施設の拡	充を図り協力	して初めて対	け策できるもℓ)なので公平・公正	であり適正であ
事	 務事業コスト、効率性評価、公平	性評価から見た	この事務事	業の課題に	?				
3	評価結果の総括と今後の方向性	生(次年度計画と	:予算への反	映)(ACTIC	ON)				
(1)	1次評価者としての評価結果				(2) 全体総括 近年頻発す			で田畑や緑地が減	少し、地表面が
	① 公共関与妥当性	適切	見直し余地	也あり	アスファルト	やコンクリー	トで覆われた	ため、流域から雨がいる。この都市型が	水が一気に河川
	② 有効性	適切	見直し余地	也あり	ため、雨水を	一時貯めた	り、地下に浸	浸透させるという、か いくことが重要である	って田畑や緑
	③ 効率性	適切	見直し余地	也あり	治水対策」で	です。流域住	民と関係事業	されてとか。 業者のご理解とご協	力のもと、水害
	④ 公平性	適切	見直し余地	也あり	のない国ノ	いが山木る。	0		
公	今後の事業の方向性(改革改善 廃止	「廃合・連携 ✓ ■ 事業のや をしない) き事業者に対し	事業のやり り方改善(公 ³ 雨水貯留・浸	平性改善) 是透施設の排	☆充を図るとと		 民への総合	(4) 改革・改善によ (廃止・休止の場合 前減 向上 成 根 長 低 下	
	改革, 改善を実現する上で解決 水抑制施設整備の実現	すべき課題(壁)	とその解決	:策					
四月/	小沙州四地以正州以大党								
(6)	<目標達成基準、見直し・廃止	基準>この事業	はどのようた	な状態となれ	ば目標が達り	成されたこと	になりますか	ヽ。また、見直し∙ 廢।	止となりますか
<u>.u/</u>		<u>- 一 / 一 / </u>	·~	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	5 山 赤// 庄/	,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	<u> 5 / 5 / 7 / 7</u>		<u> </u>
l									

			事業マネジメント					_					
事	務事業名	No. 13	多摩地区卜水 直 事業権 西	漬り す		_適止化	委員	会参	←実施 策	計画上の重点		きに該当する ^は [目を選択して	
	政策名	No. 4	4 まち			5		Ē.	「属部	都市整備			下水道課
	 施策名	No.	施策27 ⁻	下水	く道の	整備		見	F属係	下水道工程	务係 課長	:名 佐伯	喜重郎
 ਤੋਂ	 5算科目	会計	款 項 目 0 1 0 1 0 1 2 0	事	業コート			;	去令根拠	委員会規約			
	事業期間	1.7%			単年度			ļ		期間限定複数年			`
	(事業の具体的		定複数年度事業は全体像 正化委員会の下部組織とし							→ (昭和60 <mark>始した経緯(し</mark>	0 年度 ~ いつ、どのよう ⁷	年度 な経緯で開始	したか)
上を図る。 東京 成 京東 京都 記 京東 京都 記 報 記 会 : 本	都市整備局、(財は ①管路部会(20000円は年2回、部会) 部(PLAN) (DO) 目的と指標 動) に積(平成26年度 開削工事での安(南班)~①下水 「業計画(平成27	け)新都市建設公社及び (18団体) ②処理場・ポ は年5~6回 に行った主な活動) 全対策について 道BCP(業務継続計画 年度に計画している主											
)積算基準及で)道路下水道記) 結果(どんな)	び施工方法 果長及び担当職』 結果に結び付け					ア	多層	3(こ の事業 香地区での終 裁や技術の値	充一見解が	対象をどう変え 図られる。	るのか)		
)各指標等の推													
項	E		名称		単位	平成23年(決算)		平成24年度 (決算)			度 平成27年度 ៲⇒ (当初予算)		差額 (B)-(A
① 手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	委員会への出席回 管路・維持管理部		アイ	 			2 12		3 14 1	3 3 4 14		
2) 対象 📫	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	年度計画の検討記 道路下水道課長及	果題数	アイ				6		6	6 6		
3 意図 📥	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	道路下水道課長が部会へ参加した職	及び担当職員数	ア	件			6		6	6 6		•
4) 結果 📥	性を表す指標が 上位成果指標 に結果の達成度を表	雨水整備率(雨水	処理面積/計画面積>		%			30		32 3	32 32		
3)事務事業コス	す指標)	放流水質のBOD	値(水質汚濁量)	イ	mg/l								
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		項目			単位	平成23年		平成24年度 (決算)	平成25年 (決算)(A		度 平成27年度 ₿)(当初予算)		差額 (B)-(A
		正規	職員従事人数 ベ業務時間		人 時間	(人升)		30 52	(八 并/(/		2 32	(口1示胆)	(D) (A
		<u> </u>	· 木力 时 旧		h4.[H]			02		2	2 32		
			員人件費計(C)	••••••	千円			260	26	0 260	0 260	0	
人に	係るコスト	再仕片 延・	職員従事人数 べ業務時間 戦員人件費計(D)		人 時間								
		嘱託	職員従事人数		千円 人			0		0	0 0	0	
		延, 曜託職	べ業務時間 員人件費計(E)		時間 千円			0		0	0 0	0	
支 出 ———		人に係	るコスト計(F)		千円			260	26			0	
<u> </u>			物件費 うち委託料		千円 千円								
^訳 物に 	係るコスト		持補修費		千円								
		物に係	るコスト計(G) 扶助費		千円			0		0	0 0	0	
		1	補助費等		千円								
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円			20	7	0 20	0		
		移転支出	的なコスト計(H)		千円			20		0 20		0	
	その他		その他		千円								
		支出計(I)=(F)+(G)+(H)		千円			280	28	280	0 260	0	
		国庫支出金			千円								
収		都支出金 分担金及び負担金			千円 千円								
内		使用料及び手数料 繰入金			千円 千円								
訳		標入金 その他			千円								
		収入計(J)			千円			0		0	0 0	0	
		収支差額(K)=(J)−(I)			千円			-280	-28	-280	0 -260	0	
		一			0/6		_	100%	10	0% 100	100%	#DIV/01	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後	評価、た	:だし複数年度	事業は途中	評価			
公共	① 公共関与の妥当性	見		⇒【以下/	こ理由を記入】 こ理由を記入】	⇒3 改革	・ 改善方向の部に反映	
関与生評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か?	化及び	バ向上を図るこ	とが目的で	ある。これら「公共	下水道の設置、	」に係わる工事の施工・積算方法等改築、修繕、維持その他の管理」は 手の妥当性の根拠と言える。	
	② 成果の向上余地		上余地がある 上余地がない		に理由を記入】 に理由を記入】	⇒3 改革	▶・改善方向の部に反映	
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	課題の)抽出は、参加	団体間の最	大公約数的に行		上の成果の向上を図るためには、国 て向上の余地はない。	国立市
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響		下に理由を訂 D内容】	已入】 ⇒3 改	革・改善方向の	部に反映	
边 华	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)				は新技術に対応す	できないこととな	り、廃止・休止はあり得ない。	
	④ 類似事業との統廃合・連携の可	他	に手段がある		的な手段、事務事		2. 水菜・水羊大白の部に 戸姉	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との制 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	他に多	統廃合・連携が 統廃合・連携が に手段がない 受員会組織を刑	ができない ⇒【以下1	⇒【以下に理由を ⇒【以下に理由を こ理由を記入】 きが存在しない。		・3 改革・改善方向の部に反映	
舌:	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共	男与性評価、	有効性評価。	から見たこの事務	事業の課題はつ	>	
纳	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	✔ 事	業費削減(歳入	確保)余地が	ある ⇒【以下に理 ない ⇒【以下に理 交渉の余地はない	由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反	映
	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削	減余地がある	⇒【以下(こ理由を記入】	⇒3 改革		
平	会がいるべきがあります。 会地やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	✓ 削 意図的	減余地がない 的に参加回数を 員以外の参加に	⇒【以下! を減らすこと!	に理由を記入】 は出来ない。			
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見	直し余地がある	⇒【以下Ⅰ	こ理由を記入】	⇒3 改革	車·改善方向の部に反映	
生	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	本事業		特定もしくに	こ理由を記入】 は個別の対象者で ・公平であると言え		事業そのものであるため、偏りや不	公正と
	75			* NV	T.			
事.	務事業コスト、効率性評価、公平性	評価かり	ら見たこの事績	务事業の課題	息は?			
	<u>評価結果の総括と今後の方向性(</u> 1次評価者としての評価結果	次年度	計画と予算への	の反映)(AC		(振り返り、反省	<u>点</u>)	
	① 公共関与妥当性	itл	□見直し:	余地あり			くは個別の対象者ではなく、下水i 公正という言葉は適さない。従って	
	② 有効性 ② 有効性		□見直し:		公平であると			,
	③ 効率性		□見直し:					
	<u> </u>		_					
			見直し	宗地めり ニュー			1/ = / ++ = / -+ , = / - 7 += / -	
		合•連携	<u>数選択</u> 目 ■ 事業の [→] 業のやり方改善				(4) 改革・改善による期待 (廃止・休止の場合は記入) コスト 削減 維持 向 上 成維 果持	、不要
							低 下 ×	×
5)	改革, 改善を実現する上で解決す	べき課題	頃(壁)とその角	解決策				
_	 -		_					
6)	<目標達成基準,見直し・廃止基準	隼>この	事業はどのよ	うな状態とな	なれば目標が達成	されたことにな	りますか。また、見直し・廃止となり	<u>」ます</u>

		事系	务事業マネジメント	シー	-ト (兼 事	务事業コ	スト計算	(書)			
	事務事業名	No.	公共下才						十画上の重点が		に該当する ^は 目を選択して	
	政策名	No. 4	4 また	ちをつ	つくる)	Ē		都市整備部			下水道課
	————————————————————— 施策名	No. 27	施策27	下水	道の割	 怪備	Ē	所属係	下水道業務	係 課長	名 佐伯	喜重郎
	 予算科目	会計 下水	款 項 目 0 1 0 2 0 1 2 0		コード		;	去令根拠 下		 条第1項(管理	!)	
	————————————————————— 事業期間	I LVK			単年度		ļ		間限定複数年 			`
			限定複数年度事業は全体像 共下水道及び公共関連公共						とした経緯(い)	年度 ~ つ、どのような	年 <u>度</u> に経緯で開始	<i>)</i> したか)
下7 S45 今 今 事 1 (1) 1 1 1 1 1	の施策として・都市基盤整備 養費の内訳)事業費は需用費	月21日 青柳 元年に処理開始をし 開に基づく下水道整位 費、委託料、工事請負 び管きょの設計委託	移工号処理区780ha(合流 の処理区 12ha て、H6年度末で下水道普及 備・雨水管きょの整備・合流式 負費、負担金、補償、補填及で 近及び建設工事に支出される。 ・汚水管実施設計・ポンフ	率10た下水で時間	10%を改 道の改 資金、	達成。	ポンプ場寿	命化工事 ・	マンホール管	口耐震補強実	施設計・マ	ンホールトィ
成路浴 女共 結	置工事実施設計 27年度の事業計画(平成27 8改良に伴う下水道整備・ 充下水雨水吐き水質調査・ 対象(誰、何を対象にしている 下水道利用者及び雨水 手果(どんな結果に結び付け 全域で、浸水及び公共用水	公共汚水桝の設置 国立排水路測量委割 るのか)*人や自然資 るのか)	・雨水枝線工事 ・ポンプ場 託 資源等	易耐震	補強コ	③ 意		によって、対	ール管口耐震/ 象をどう変える		ボールトイレ	設置工事
	指標等の推移		L y るここ// くさる。									
<u>-/ Ц</u>	項目		名称	単	单位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)			差額 (B)-(A)
<u>(1)</u>	手段 活動指標(事務 事業の活動量を表す	分流地区雨水管		ア	ha	(//#/	53		 	53		(B) (A)
<u> </u>	事業の活動量を表す指標)	合流改善の投資	資 額	+	千円		130,337	· ·	· ·	217,414		
2	対象指標(対象の大きさを表す指標)	人口普及率		ア	%		100	100	100	100		
<u>্</u>	成果指標(対象	雨水管整備率(ha/ha)	ア	%		56	5 56	5 56	56		
3	意図 における意図の達成度を表す指標)			1								
4	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)		雨水処理面積/計画面積 D値(水質汚濁量)		% mg/l							
3)事	務事業コストの推移		ひ他 (小貝//)周里/	1 '1'	-							
		項目 •			単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)			差額 (B)-(A)
		<u>1</u> E	規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間		2 3,600	3,600	3,600	7,200		(
	人に係るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		千円 人		18,000 1	18,000 1	18,000 1	36,000	0	
	入に旅るコスト	再任用	延べ業務時間 月職員人件費計(D)		時間 千円		3,600 7,200	3,600 7,200	3,600 7,200	0	0	
		嘱	託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
支		嘱託	職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円		0 25,200	0 25,200	0 25,200	0 36,000	0	
支出为			物件費うち委託料		千円		20,200	20,200	20,200	30,000		
沢	物に係るコスト	Į	維持補修費		千円							
		物に	(係るコスト計(G)		千円		0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等		千円							
	移転支出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円							
		移転支	出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
	その他		その他		千円		-			-		
-		支出計(I)=(F)+(G)	+(H)		千円		25,200	25,200	25,200	36,000	0	
		国庫支出金 都支出金			千円 千円		9,870 493	15,207 760	22,626 1,131	77,500 3,875		7,41 37
収入		分担金及び負担	金		千円		433	700	1,101	5,010		
为訳		使用料及び手数 繰入金 その他	不		千円							
אנ		その他			宇円		73,300	40,400	33,100	99,800		-7, 30
		収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I	`		千円		83,663 58,463	56,367 31,167	56,857 31,657	181,175 145,175	0	49
	,	収支差額(K)=(J)−(I 一般財源投入割合	,		十円 %		58,463 -232%	31,167		-403%	#DIV/0!	490

公共関	<u>評価の部(CHECK) * 原則は事復</u> ① 公共関与の妥当性		<u>及事未は歴中評価</u> る ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
뫡		✓ 妥当である	⇒【以下に理由を記入】	
ス 与	なぜこの事業を行政が行わなければ らないのか?税金を使う必要がある	な 公共施設の建設及保全にもなるので?		り義務であり、合流改善は浸水防止及び公共用水域の水質
生	か、民間や受益者ができる事業か? つ、行政が行うとした場合、国・都が行	か	X = (0) 00	
+	う事業か、それとも市が行う事業か?	1		
	② 成果の向上余地	✓ 向上余地がある		⇒3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成	向上余地がない 現状では、人口普		雨水管整備、ポンプ場及び管きょの更新・改築及び地震対象
	の現状水準とあるべき水準との差異にないか?何が原因で成果向上が期待	ま の計画の実施をす	ることにより、さらなる成果向」	
	できないのか?			
	③ 廃止・休止の成果への影響			改革・改善方向の部に反映
	 事務事業を廃止・休止した場合の影響	響 本事業を廃止・休」	その内容】 止することは、居住環境の悪作	上につながる。
力生	の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に	0		
Ŧ	役立っているか?)			
Щ				
	④ 類似事業との統廃合・連携の			
	能性 目的を達成するには、この事務事業」	→ 統廃合・連携 → 統廃合・連携		
	外他に方法はないか?類似事業との	統他に手段がない	⇒【以下に理由を記入】	
	廃合ができるか?類似事業との連携 図ることにより、成果の向上が期待で		はない。	
	るか?			
<u></u>	動指標・対象指標・成果指標の推	移、公共関与性評価、	、有効性評価から見たこの事	<u> </u>
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳	入確保)余地がある ⇒【以下にヨ	理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映
	保余地	✔ 事業費削減(歳)	入確保)余地がない ⇒【以下にヨ	理由を記入】
	成果を下げずに事業費を削減できな か?(仕様や工法の適正化、住民の			f・改築 ③耐震化工事により事業費の増加が予想されるた
力	カなど) さらなる歳入を確保できないか?	-> (111 b) () (E1 o) ()	. 0	
•	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	■ ■ 削減余地がある	→【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
Ŧ	余地	✓ 削減余地がない	→【以下に理由を記入】	
Щ	やり方を工夫して延べ業務時間を削え できないか?成果を下げずにより正耶		きするにめには、栓験を積んに 乍業等は実施しており、削減は	専門技術者のノウハウが重要となってきている。 tできない。
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	見直し余地があ	る ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
公		✓ 公平・公正である		
平性	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担			道使用料を徴収しており不公平はない。 流地区と整合が取れていない。
評	が公平・公正になっているか?	たたし、万和地区		加地区区正日 20-30X4 0 C V - 43 V - 5
西				
-	 務事業コスト、効率性評価、公平「	 	変す業の細照ける	
	務事系コスト、効率注評価、公平	土計1四から兄だこの事	+務争耒の誄越は?	
手 :				
<u>手</u> :				
3	評価結果の総括と今後の方向性	(次年度計画と予算へ		
3	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果	(次年度計画と予算へ	(2) 全体総持	舌(振り返り、反省点))雨水管整備が遅れているので、推進する必要がある。
3	1次評価者としての評価結果		(2) 全体総持	舌(振り返り、反省点) 5雨水管整備が遅れているので、推進する必要がある。
3	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性	適切 見直	(2) 全体総持分流地区の 分流地区の し余地あり	
3	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 … … … … … … … … … … … … …	適切 見直	(2) 全体総 分流地区の し余地あり し余地あり	
3	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 … … … … … … … … … … … … …	適切 見直	(2) 全体総持分流地区の 分流地区の し余地あり	
3	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 効率性	適切 見直 見直 di	(2) 全体総 分流地区の し余地あり し余地あり	
3 1)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 V ② 有効性 □ ③ 効率性 V ④ 公平性 V	適切 □ 見直 l	(2) 全体総 分流地区の し余地あり し余地あり し余地あり)雨水管整備が遅れているので、推進する必要がある。
3 1)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善機止	適切 見直 適切 ノ 見直 適切 見直 適切 見直 寒)・・・複数選択可 廃合・連携 事業 <i>0</i>	(2) 全体総 分流地区の し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり でも今でである。 でもり方改善(有効性改善))雨水管整備が遅れているので、推進する必要がある。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止 <u>・休止の場合は記入不要</u>)
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善廃止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 「現 東	(2) 全体総 分流地区の し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり でも今でである。 でもり方改善(有効性改善)	○雨水管整備が遅れているので、推進する必要がある。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善機止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 東舎・連携 事業のやり方改善ましない)	(2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体の (2	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 前減 維持 増加
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善 廃止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 東舎・連携 事業のやり方改善ましない)	(2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体の (2	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善 廃止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 東舎・連携 事業のやり方改善ましない)	(2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体の (2	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (水・休止の場合は記入不要) (廃止・休止の場合は記入不要) (放棄・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善 廃止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 東舎・連携 事業のやり方改善ましない)	(2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体の (2	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト
3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善 廃止	適切 見直 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 また。 東舎・連携 事業のやり方改善ましない)	(2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対分流地区の公司 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体総対 (2) 全体の (2	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
3 1)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 一 今後の事業の方向性(改革改善機止	適切 見直に適切 見直に適切 見直に適切 見直に適切 見直に適切 見直に適切 見直に変数選択可廃合・連携 見事業のやり方改きとしない)に、分流地区の雨水が	(2) 全体総対分流地区の し余地あり し余地あり し余地あり し余地あり でもり方改善(有効性改善) 善(公平性改善) 管整備を今後推進する。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
3) 3)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 公平性 ② 公平性 ② 公平性 ② 分平性 ② 公平性 ② 会の事業の方向性(改革改善機・ 国事業統事業のやり方改善(効率性改善)現状維持(従来通りで特に改革改善改善、流地区との不公平を解消するため	適切 見直 見直 適切 見直 適切 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 東京・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全域 (2)extinum ((4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (廃止・休止の場合は記入不要) 削減 維持 増加 成維 果 低 × ×
3 3) <u></u> 5)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 効率性 ② 公平性 ② 公平性 ② 公平性 ② 分平性 ② 公平性 ② 会の事業の方向性(改革改善機・ 国事業統事業のやり方改善(効率性改善)現状維持(従来通りで特に改革改善改善、流地区との不公平を解消するため	適切 見直 見直 適切 見直 適切 見直 適切 見直 意切 見直 意切 見直 見直 意切 見直 見直 東京・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全域 (2)extinum ((4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
3 3) 5)	1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 公平性 ② 今後の事業の方向性(改革改善) 廃止 □ 休止 □ 事業統 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善表流地区との不公平を解消するため 改革、改善を実現する上で解決 業実施するにあたり、多額の事業	適切 見直 適切 見直 適切 見直 意切 見直 東方直 東子・連携 まの を一 事業 の をしない) に、分流地区の 雨水 またい を はない とその	(2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全体総対分流地区の公司 (2)全域 (2)extinum ((4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) (廃止・休止の場合は記入不要) 削減 維持 増加 成維 果 低 × ×

		事務	8事業マネジメン	トシ・	ート	(兼事系	务事業コ	スト計算	書)			
事	務事業名	No. 3	立川市処理	里場網	推持管	理事業		←実施計 策	画上の重点		に該当するは 目を選択して	
	政策名	<u>No.</u> 4	4 ま	きちを	つくる	5	月	•	都市整備部			下水道課
	施策名	No. 27	施策27	下力	K道の	整備	月	「属係	下水道業務何	系 課長	名 佐伯	喜重郎
	予 算科目	会計 下水	款 項 目 0 1 0 2 2		業コート 0 6		ž		水道法第31条の 務の委託に関す			下水道事業の
	事業期間	11/4	単年度のみ	V	単年度	繰返 — — — —			間限定複数年度		年度)
			限定複数年度事業は全体 するのではなく、流域下水			古绅町下水石		の事業を開始	おした経緯(いつの一部地区)	つ、どのような	:経緯で開始	したか)
用している。 ・柳地域の一部 ・処理費用につ	『地区の下水処理 Oいて立川市に維	型については立川市針	綿町下水処理場で行って≯ 形で支払っている。処理単	おり(青	F柳処 理	里分区12.4ha)	に	伴いこの事業			20000	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
事務事業の 手段(主な活 成26年度のま 江川市錦町下 担金は青柳欠	動) €績(平成26年度 水処理場の適正 └理分区の汚水量		かの負担金を支払う。									
卵処理分区内 卵処理分区内 結果(どんな	Nの国立市民※国 Nの汚水量 結果に結び付け	のか)* 人や自然資 国立市青柳一部地域 るのか) 域の水質汚濁を防止	住民				図(この事業 非水をきれい		象をどう変える	のか)		
内主域で、反 各指標等の推		- 奥の小負行側を図出	こ g るとこが できる。 									
	<u>能移</u>		 名称		単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度	・ 平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
) 手段 📥	活動指標(事務 事業の活動量を表す	負担金		ア	円	(ズ昇)	(沃 昇) 9,094,371	T .		(ヨ例ア昇) 14,200,000	∖口′际但/	(D)-(A)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	指標)	汚水量 売柳処理公区は	10 1 D	イア	m³		143,800 1,236		,	175,000		
)対象 📥	対象指標(対象の大きさを表す指標)	青柳処理分区内 青柳処理分区内			人 m³		1,236 143,800			1,229 175,000		
意図 📥	成果指標(対象における意図の達成		D値(汚水汚濁量)	ア	1		0.9		1.2	1.2		
	度を表す指標)	放流水質のB○Ⅰ	 D値(汚水汚濁量)	イ ア	mg/Q				-			
)結果 🛑	(結果の達成度を表 す指標)		レ胆(パルパパ <u>奥里)</u> L理面積/計画面積×100)		ш8/ №							
事務事業コス	トの推移				単位				平成26年度		目標年度	差額
			見職員従事人数		人	(決算)	(決算)	(決 算)(A)	(決算見込み)(B) 1		(目標値)	(B)-(A)
			正べ業務時間		時間		22	22	22	22		(
			職員人件費計(C)		千円		110	110	110	110	0	(
人に	係るコスト	į	用職員従事人数 正へ業務時間		人 時間							
		嘱言	職員人件費計(D) 毛職員従事人数		千円 人		0	0	0	0	0	
		嘱託耳	正べ業務時間 職員人件費計(E)		時間 千円		0	0		0	0	
		人に	係るコスト計(F) 物件費		千円		110	110	110	110	0	
	係るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円							
			係るコスト計(G)		千円		0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等		千円 千円		9,094	9,302	9,616	14,200		31-
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円							
	スの44	移転支	出的なコスト計(H)		千円		9,094	9,302	9,616	14,200	0	31-
	その他	支出計(I)=(F)+(G)-	その他 +(H)		千円		9,204	9,412	9,726	14,310	0	31-
		国庫支出金	V-1/		千円		0,204	0,112	3,120	11,010	0	
		都支出金			千円							
]		分担金及び負担 使用料及び手数			千円千円							
		繰入金 その他			千円 千円							
		収入計(J)			千円		0	0	0	0	0	
	Į	収支差額(K)=(J)-(I) 一般財源投入割会			千円		-9,204 100%	-9,412	-9,726 100%	-14,310	#DIV/0!	-31

_	悪体の如(のほの)() 本 佐則は東後	冠体 大心 埃塞尔克克罗尔	
<u>2</u> 公	評価の部(GHEGK)*原則は事後記 ① 公共関与の妥当性	評価、ただし複数年度事業は途中評価財直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映	
共	たばこの声巻を行むが行わたければた	✔ 妥当である ⇒【以下に理由を記入】	Ⅲ+Ⅱ+・壬川 田・ 十 ・ファ
与	なぜこの事業を行政が行わなければな らないのか?税金を使う必要がある	とが望ましい。	生場を利用するこ
	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行		
	う事業か、それとも市が行う事業か?		
	② 成果の向上余地	□ 向上余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革·改善方向の部に反映 □ 向上余地がない ⇒【以下に理由を記入】	
	成果を向上させる余地はあるか?成果	高度処理等の施設が備えられ、下水道法施行令で定められた水質基準を保っているため。	
	の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待		
	できないのか?		
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革·改善方向の部に反映	
有动	事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この		
性	事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		
評価	反立っているか?)		
,,,,,,	○ ** ** ** * * * * * * * * * * * * * *	7	
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	・ 統廃合・連携ができる ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に	反映
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との統	【	
	廃合ができるか?類似事業との連携を	北多摩二号水再生センターとの統合は、地形的な問題により難しい。	
	図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	2	
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	る、公共関与性評価、有効性評価から見たこの事務事業の課題は?	
立	川市錦町下水処理場を廃止し、北多	多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中	中である。
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確	事業費削減(歳入確保)余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向	の部に反映
	保余地 成果を下げずに事業費を削減できない	 ✓ 事業費削減(歳入確保)余地がない ⇒【以下に理由を記入】 1 北多摩二号水再生センターへ流したほうが処理単価は安いが、現実的には前述の理由による	にり難しい。
幼	か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など)		•
率	さらなる歳入を確保できないか?		
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地	 削減余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 削減余地がない ⇒【以下に理由を記入】	
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減	₹ 汚水処理費に関しては、使用料収入等関係する事務の中の一部分であり、立川市処理部分	分の事務だけを分
	できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?	けるのは、難しいため。	
	(アウトソーシングなど)		
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映	
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	見直し余地がある ⇒【以下に理由を記入】 ⇒3 改革・改善方向の部に反映 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】	
平	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地 事業の内容が一部の受益者に偏って	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水	処理場で処理さ
平性評	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】	処理場で処理さ
平性評	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水	処理場で処理さ
平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。	処理場で処理さ
平性評価 事	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水	
平性評価 事	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水 れているので公平である。 評価から見たこの事務事業の課題は?	
平性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北多	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水 れているので公平である。 三評価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION)	
平性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北多 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。 三評価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業の改善については、立川市錦町下水処理場は立	である。
平性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北多	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。 評価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION) (2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業の改善については、立川市錦町下水処理場は立り管理・運営されているため、立川市との協議及び情報技	である。
平性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北多 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果		である。
性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北多 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。 雲暦価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION)	である。
平性評価 事立 3	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市錦町下水処理場を廃止し、北多評価結果の総括と今後の方向性(21次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 3 効率性 ✓ 適	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。 三評価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION)	である。
平性評価 事立 3 (1)	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市第町下水処理場を廃止し、北多評価結果の総括と今後の方向性(21次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適	✓ 公平・公正である ⇒【以下に理由を記入】 青柳処理分区の普及率は100%であり、処理区域内の住民の汚水は全て立川市錦町下水れているので公平である。 三評価から見たこの事務事業の課題は? 多摩二号水再生センターで処理の計画が現在進行中であるため、この事業の見直しを協議中 (次年度計画と予算への反映)(ACTION)	である。 川市によって維持 提供を求めるとい
平性評価 事立 3(1)	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性が分平・公正になっているか? 蔣価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案) 廃止 ✓ 体止 □ 事業統廃		川市によって維持 提供を求めるとい よる期待成果 合は記入不要)
平性評価 事立 3(1)	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性証明市錦町下水処理場を廃止し、北多評価結果の総括と今後の方向性(2)1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適② 効率性 ✓ 適③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適		である。 川市によって維持 提供を求めるとい よる期待成果
平性評価 事立 <u>3</u> (1) 3 2 特	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性が公平・公正になっているか? 蔣価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② は、		川市によって維持 提供を求めるとい よる期待成果 合は記入不要) コスト
平性評価 事立 <u>3</u> (1) 3 2 特	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市部町下水処理場を廃止し、北多評価結果の総括と今後の方向性(2)1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ② 効率性 ✓ 適 ② 効率性 ✓ 適 ② 対率性 ✓ 適 項票のかり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし現状維持(従来通りで特に改革改善をします。		川市によって維持 提供を求めるとい は、高期行成果 合は記入不要) コスト 域 維持 増加
平性評価 事立 <u>3</u> (1) 3 2 特	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性が公平・公正になっているか? 蔣価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② は、		である。 川市によって維持 提供を求めるとい 本語入不要) コスト 本持 増加
平性評価 事立 <u>3</u> (1) 3 2 特	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性が公平・公正になっているか? 蔣価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② は、		川市によって維持 提供を求めるとい は、高期行成果 合は記入不要) コスト 域 維持 増加
平性評価 事立 <u>3</u> (1) 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性が公平・公正になっているか? 蔣価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② は、		である。 川市によって維持 提供を求めるとい 本語入不要) コスト 本持 増加
平性評価 事立 3 1) 33 √ 特流 5	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の受益者に偏っているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の場合を関係を関するとしての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 適適 ② 効率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② がままままままままままままままままままままままままままままままままままま		である。 川市によって維持 提供を求めるとい 本語入不要) コスト 本持 増加
平性評価 事立 3 1) 33 √ 特流 5	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の受益者に偏っているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の場合を関係を関するとしての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 適適 ② 効率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② がままままままままままままままままままままままままままままままままままま		である。 川市によって維持 提供を求めるとい 本語入不要) コスト 本持 増加
平性評価 事立 3 1) 33 √ 特流 5	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の受益者に偏っているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市の第一部の場合を関係を関するとしての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 適適 ② 効率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② 適適 ② 対率性 ② がままままままままままままままままままままままままままままままままままま		である。 川市によって維持 提供を求めるとい 本語入不要) コスト 本持 増加
平性評価 事立 3(1) (3) →特流 (5)立	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性別市 第町下水処理場を廃止し、北多評価 結果の総括と今後の方向性(2012) 1次評価 者としての評価 結果 ② 有効性 ② カッ率性 ② 海ッ率性 ② 方向性(改革改善、企業統廃事業のやり方改善(効率性改革改善改善を見状維持(従来通りで特に改革改革改善を見ませが、今後立川市の処理場を厚まための協議を現在進行中。		である。 川市によって維持 提供を求めるとい コスト コスト 域 維持 増加 O
平性評価 事立 3 1 V特流 (5) 立 (6)	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? ※事業コスト、効率性評価、公平性別市市錦町下水処理場を廃止し、北多評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性		である。 川市によって維持 提供を求めるとい コスト コスト 域 維持 増加 O

		事系	务事業マネジメ	ントシ	<i>_</i>	· 卜 ((兼 事剂	务事業コ	スト計算	書)			
事	務事業名	<u>No.</u> 4	流域下水道	重水質 	検査		司実施事業	É	←実施計 策	画上の重点		に該当するは 目を選択して	
	政策名	No. 4		4 まち	をつ	くる)	所	•	都市整備部			下水道語
	施策名	No. 27		〔27 下				所	「属係]	水道業務	係 課長	名 佐伯	喜重則
_3	予算科目	会計 下水	款 項 目 0 1 0 1 0 2			コード 0 6		ž	よ令根拠 下	水道法第21第	条、第25条の8	、水質汚濁隊	方止法第3
	事業期間	1	単年度のみ			年度 			期 	間 限定複数年 月 (平成17	度 年度 ~	年度)
			限定複数年度事業は多 及び構造を保全し、北多				プンター 乃び		の事業を開始	これ経緯(い	つ、どのような	経緯で開始	したか)
と川市公共 ^一 こおいて水質	F水道との接続点 賃検査の分析を行	(及び事業場排水に	検査業務受託者により、 ついて現地で採水の立 知により、水質排出基≟	三会いを4	年4回	回実施	起し、後日、当	下水道及 該受託	小坦何土得	で水質検査業	務の共同表別	也を用炉した。	
事務事業の								•					
	実績(平成26年度	に行った主な活動)	道接続点の水質調査、	友此去	-11- ₩-	·18.2.	د مالام د	际八七					
メド 小坦及 (<u> </u>	N垣〜独田 9 の L 小	担按机点97小員調宜、	台 村止	尹未	物の	ウリカF/NVノ/J	(具分別					
或27年度の 年度と同様	事業計画(平成27	/年度に計画している	主な活動)										
中度と同僚													
対象(誰、何 水の水質	を対象にしている	るのか) * 人や自然資	·····································					図(この事業) 非出基準に適		象をどう変える	のか)		
ハツ小貝							小貝尔	ೡⅥ盔毕ೋ趟	ロロヒる。				
	結果に結び付け 水及び公共用水	るのか) (域の水質汚濁を防」	トナストレがでキス				<mark> </mark>						
各指標等の		「奥の小貝行倒を別」	L y ることが くさる。										
	性的 [目		 名称		単	位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)	平成25年度	平成26年度 (決算見込み)(B)	平成27年度	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(
手段 📄	活動指標(事務) 事業の活動量を表す	接続点			ア	箇所	(//	(次 异) 22	22		(当初下 第7 22		(D) (
T+X -	事業の活動量を表す 指標)	特定事業場	\		イ信	新所 0/		13	13	16	10		
対象	対象指標(対象 の大きさを表す指標)		検体数 (接続点) 検体数 (特定事業	[]	ア	% %		0 5	0	0	0		
意図 📥	成果指標(対象	改善率	KHX (NCTA	C-917	ア	%		100	100	100	100		
)意図 🖵	における意図の達成度を表す指標)	水質基準の適合			イ	%		100	100	100	100		
)結果 📥	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)	放流水質のBOI	D値(水質汚濁量)		アロイ	ng/Q							•
事務事業コス					<u>'</u>		亚式22年度	一	亚式25年度	1亚式26年度	亚式27年度	日堙左连	差額
		項目 	規職員従事人数		È	単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度(目標値)	左部 (B)-(
		IE)	祝戦員化争へ数 延べ業務時間		E	人 時間		2 16	2 16	8	8		
		——————————————————————————————————————	######################################					00					
)	「係るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数			千円 人		80	80	40 1	40 1	0	
	-1/1/0-1/1	再任用	延べ業務時間 月職員人件費計(D)			時間 千円		0	0	28 56	28 <mark>56</mark>	0	
		3	託職員従事人数 延べ業務時間			人 時間				1 20	1 20		
		属託 人に	職員人件費計(E) -係るコスト計(F)		-	千円 千円		0 80	0 80	30 126	30 126	0	
			物件費 うち委託料		Ξ	千円 千円							
物に	係るコスト		維持補修費		=	千円							
		物に	「係るコスト計(G) 扶助費			千円 千円		0	0	0	0	0	
移転も	出的なコスト		補助費等 繰出金		=	千円 千円		1,092	1,125	1,473	3,444		
15742	, 0, 1	投柜 专	<u> </u>		Ξ	 千円 千円		1,092	1,125	1,473	3,444	0	
	その他	12+4.2	その他			千円		1,002		1,110	0,111		
		支出計(I)=(F)+(G)				千円		1,172	1,205	1,599	3,570	0	
		国庫支出金				千円							
		都支出金 分担金及び負担				千円 千円							
		使用料及び手数 繰入金	料		=	千円 千円							
		その他			=	子円							•
		収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I	\ \			千円		0 -1,172	-1,205	0 -1,599	-3,570	0	-:
		収文差額(K)=(J)−(L 一般財源投入割合	<i>,</i>		_	十円 %		-1,172 100%	-1,205 100%	-1,599 100%	-3,570 100%	#DIV/01	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後			
公共	① 公共関与の妥当性		↓下に理由を記入】 ⇒ぐ ↓下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
関与性評	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かっ、行政が行うとした場合、国・都が行			設の維持管理及び公共用水域の水質改善を図
価	う事業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	向上余地がある ⇒【じ	↓下に理由を記入】 ⇒	3 改革・改善方向の部に反映
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	▼ 向上余地がない ⇒【以 法令に基づく水質検査を実践 排除基準に適合させるべく指	は下に理由を記入】 施し、各水質項目の分析を行って 音導・規制等の措置を講じている	ている。そのなかで、事業場排水については下7。。
効	③ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響 の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に 役立っているか?)		流域関連公共下水道から流域 ⁻	「向の部に反映 F水道に排出する下水の処理及び流域下水道 らの放流水を水質基準に適合させることが困業
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	統廃合・連携ができる 統廃合・連携ができない を 他に手段がない ⇒【以 類似事業がたい	具体的な手段,事務事業) ⇒【以下に理由を記入】 → ⇒【以下に理由を記入】 ↓下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性評	「価から見たこの事務事業の課題	頁は?
特	に無し			
効	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) さらなる歳入を確保できないか?	✔ 事業費削減(歳入確保)余均	也がある ⇒【以下に理由を記入】 也がない ⇒【以下に理由を記入】 、一括委託による経費節減と事	⇒3 改革・改善方向の部に反映 務の効率化が図られている。
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地		↓下に理由を記入】 ⇒ぐ ↓下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
	が地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)		·	上の業務時間の削減はできない。
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		以下に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映
事	 務事業コスト、効率性評価、公平性	 評価から見たこの事務事業の	課題は?	
特	に無し			
3	評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予質への反映)((ACTION)	
	1次評価者としての評価結果	<u>火干及肝固亡了并"砂灰吹</u> "	(2) 全体総括(振り返り、	反省点) 成17年度から共同で実施されたことで、すでに
	① 公共関与妥当性 🗾 適	□ 見直し余地あり	費用の削減及び事務の	効率化が図られており、流域下水道及び流域関
	② 有効性 🗾 適	□ 見直し余地あり		について適正な維持管理が行われている。
	③ 効率性 🗾 適	□見直し余地あり	ı	
	④ 公平性	[切 □見直し余地あり	J	
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	<u>─</u> 〕···複数 <u>選択</u> 可	善(有効性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) ト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
現	現状維持(従来通りで特に改革改善をし 状の水質検査を共同で実施していく	ない) ことで、特に改革改善はない。		削減 維持 増加
	<u>改革,改善を実現する上で解決す。</u> に無し	べき課題(壁)とその解決策		
13	· · · · · ·			
			<u> </u>	になりますか。また、見直し・廃止となりますか
兄 	直し・廃止は、不可(公共下水道事業	₹I〜Iは、必安小可火)		

			事系	务事業マネジ ン	シトシ	/	(兼事)	务事業コ	スト計算	(書)			
	事務	—————— 务事業名	No. 6	下水道	受益者負	負担金	収納事業		←実施記 策	†画上の重点カ		に該当する場 目を選択して	
		 	No. 4		4 まちる	をつくる	5	Ē.	- 1	都市整備部			下水道課
		 拖策名	No.		策27 下.	水道の	 整備	Ē	所属係 T	下水道業務/	(系) 課長	名 佐伯	喜重郎
			27 会計	款【項】目	· 	業コート	:	3		市計画法第75条、国际			
		事業期間	下水	0 1 0 1 0 単年度のみ	1 2 0	0 0 2 単年度	<u>0</u> 000 [繰返			間限定複数年月			
務	事業の概要(な手順、詳細。期間		全体像を	 記述)				→ (昭和45 台した経緯(い	年度 ~ つ、どのような	年度 経緯で開始	
在 は ()を () () ()	は、下水道処 なく、徴収猶 行っている。 費の内訳	凸理区域は100 予となっている <u>−</u>	%となり、全処理区域 土地の管理と猶予解	区域に所有する土地で 或地域で賦課済みとな 除となった土地につい	つているの	ので、新	たに賦課徴収	を行うの					
<u></u> 事 手 成 切	状把握の部 務事業の目 段(主な活動 26年度の実統 状況の管理	(PLAN) (DO) 的と指標 助) 績(平成26年度	料、過誤納還付金に										
				者負担金をかけるかる	らか決定し 	、徴収及	及び免除処理 	をする。そし 	て処理したも 	のについて異真	動処理票を作	成する。 	
	27年 度の事 度と同様	未訂凹(半成27	年度に計画している	土は活動)									
処理	!区域内土地	也及び土地所有					下水道敷	放設にあたり受益者	に費用の一部を負	象をどう変える 担してもらう。 i有者(受益者)より徴			
			上地所有者(受益者))						「有者(受益者)より徴 解除に当たるか否か		合は賦課徴収を行)。 (場合によって
		集に結び付け く及び公共用水	るのか) :域の水質汚濁を防」	トすることができる									
旦	指標等の推 項目			 名称		———— 単位			平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
_	<u> </u>		異動処理票		-	アー件	(決算)	(汉 昇) 17		(決算見込み)(B) 3 45	(当初予算) 15	(日標値)	(B)-(A)
)	手段 🔛	事業の活動量を表す指標)				1							
)	対象 📥	対象指標(対象	処理区域面積		-	ア m²		7,830,000	7,830,000	7,830,000	7,830,000		
_		の大きさを表す指標)	徴収猶予土地面			イ m ²		559,383	· ·	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	535,380		
)	意図 💮	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	賦課土地面積(免除面積	独予解除面積)		ア m ² イ m ²		4,527 3,234	•		3,000		
_		上位成果指標		D値(水質汚濁量)		r mg/l		0,201	0,01	0,001	Ŭ		
		(結果の達成度を表 す指標)	雨水整備率(雨水処	l理面積/計画面積×	100) -	イ %							
事	務事業コスト	への推移					平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
_			項目 T	規職員従事人数		単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)			(目標値)	(B)-(A)
			JΕ	祝戦員化争へ致 延べ業務時間		時間		288	288	288	288		
	l 1-17	57 - 71		職員人件費計(C) E用職員従事人数		<u>千円</u> 人		1,440	1,440	1,440	1,440	0	
	∧ 1~1⁄1	系るコスト	五 五 百 百 百 百 百 百 百 1	延べ業務時間 職員人件費計(D)		時間 千円		0	0	0	0	0	
			嘱	託職員従事人数 延べ業務時間		人時間							
$\cdot \mid$			嘱託	職員人件費計(E)		千円		0	0		0	0	
				「係るコスト計(F) 物件費		千円 千円		1,440 966	1,440 966	1,440 3,748	1,440 897	U	2,78
	物に係	系るコスト		うち委託料 維持補修費		千円 千円				3,748	897		3,74
			<u> </u> 物に	:係るコスト計(G)		千円		966	966	3,748	897	0	2,78
				扶助費 補助費等		千円							
	移転支出	出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円							
			移転支	その他 (出的なコスト計(H)		千円		0	0	0	0	0	
	そ	の他		その他		千円							
_			支出計(I)=(F)+(G)	+(H)		千円		2,406	2,406	5,188	2,337	0	2,78
			国庫支出金			千円							
			都支出金 分担金及び負担	金		千円 千円		1,449	2,344	270	960		-2,07
			使用料及び手数 繰入金			千円千円							
			裸人宝 その他			千円							
			収入計(J)			千円		1,449	2,344	270	960	0	-2,07
_		Į	収支差額(K)=(J)-(I)		千円		-957	-62	-4,918	-1,377	0	-4,850
			一般財源投入割合			%		40%	39	95%	59%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則に	+車後証価 -	ただし海粉年帝重	**************************************	/ ##				
公	計画の部(CHECK)*原則に ① 公共関与の妥当性		<u>/こ/にし複数年度争</u> 見直し余地がある 妥当である		即由を記入】	⇒;	3 改革·改善	方向の部に反	映
手生平	なぜこの事業を行政が行わなけらないのか?税金を使う必要がか、民間や受益者ができる事業つ、行政が行うとした場合、国・礼う事業か、それとも市が行う事業	ればな 受益 ある る。 か?か 鄒が行	を当 での る 者負担金を賦課復			業におけるこ	工事費用の負	担を目的として	ているため必要
	② 成果の向上余地		句上余地がある 句上余地がない	⇒【以下に理 ⇒【以下に理		⇒;	3 改革・改善	方向の部に反	映
	成果を向上させる余地はあるかの現状水準とあるべき水準とのないか?何が原因で成果向上だできないのか?	?成果 差異は				対する徴収	率は100%で	あるため。	
	③ 廃止・休止の成果への影		影響無 ⇒【以下1 影響有 ⇒【その17	こ理由を記入 丸突 1	.] ⇒3 i	改革・改善力	方向の部に反	映	
幼	事務事業を廃止・休止した場合の の有無とその内容は?(そもそも 事業は、施策の目的や公益の堆 役立っているか?)	の影響国立	では、一つででのから 市全域において販 猶予解除し、徴収 いうことになり、公	試課済みとな しているとい					
	④ 類似事業との統廃合・連能性 目的を達成するには、この事務 外他に方法はないか?類似事事 廃合ができるか?類似事業との 図ることにより、成果の向上が其	事業以業との統一作	也に手段がある 就廃合・連携がて 就廃合・連携がて 対応を・連携がて 地に手段がない つの案として、ます 置は自費でやって	きる → きない → ⇒【以下に理 の設置を全`	て自費とする	を記入】 を記入】 ことがあげら	れる。受益者	・改善方向の負担金をいた	
	るか? 動指標・対象指標・成果指標	 の推移、公共	関与性評価、有	効性評価から	見たこの事績	务事業の課題	題は?		
	 益者負担金事体に対する考え								
纳	⑤ 事業費の削減余地・歳入 保余地 成果を下げずに事業費を削減て か?(仕様や工法の適正化、住 力など) さらなる歳入を確保できないか?	きない 現在 民 の 協 とがま	事業費削減(歳入確 事業費削減(歳入確 季託しているもの 考えられ、かえって 、④にあげた手段	保)余地がない を全て職員て て人件費がか	→【以下に理 行う。但し、全 かることが予れ	■由を記入】 全ての管理を 想される。			方向の部に反映 は大幅に増加っ
性	⑥ 人件費(延べ業務時間)の	の削減 消	削減余地がある	⇒【以下に理		⇒;	3 改革・改善	方向の部に反	映
価	余地 やり方を工夫して延べ業務時間 できないか?成果を下げずによ 員以外の職員や委託でできない (アウトソーシングなど)	を削減 上記 り正職 正を!	削減余地がない のとおり、委託を角 職員でやることとし		ると人件費は対				し、賦課土地図
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適余地 事業の内容が一部の受益者にいて不公平ではないか?受益者が公平・公正になっているか?	ダ 扁って 受益	見直し余地がある 公平・公正である 者から負担金を徴	⇒【以下に理 ⇒【以下に理 対収する事業	里由を記入】			方向の部に反	映
	務事業コスト、効率性評価、2 益者負担金事体に対する考え								
	評価結果の総括と今後の方		計画と予算への	反映)(ACTIC		7 / =			
(1)	1次評価者としての評価結果	· ·		116-4-11	(2) 全体総括	5(振り返り、	及 自品)		
	① 公共関与妥当性	☑適切	✓見直し余						
	②有効性	適切	見直し余						
	③ 効率性	適切	見直し余						
	④ 公平性 	✔適切	見直し余	地あり					
~ · 微 政	今後の事業の方向性(改革 廃止 操体止 事事業のやり方改善(効率性改善 現状維持(従来通りで特に改革 奴収額が工事費の一部をまか に負担になりつつある。受益に るし、委託の削減・廃止等によ	業統廃合・連携) ■ ■ 事 改善をしない) なうどころか、 こ対する負担	馬 □事業のやり 章業のやり方改善(公 受益者負担金事 ○の公平性を保つす	※平性改善) 業にかかる輩 ための、他の	骨用すら下回	るということて なら廃止を考	で下水道財活える必要が	(廃止·休止0	等による期待成会 ウ 場合は記入不 コスト 削減 維持 増
	改革、改善を実現する上で					,			
保·	を益者負担金制度を廃止する つための手段が必要である。 き託の削減・廃止をするとなる		,, ,		,				
О) -	異動が頻繁に行われる状況で	では徴収済み	・猶予の適切な管	理について	い問題がでる	恐れがある。	業者に委託	することで職員	の人件費の軽
(6)	<u><目標達成基準, 見直し・房</u>	上 <u>本本</u> アご(<u>ル事業はとのよう</u>	なび 思となれ	<u> は日標か達</u>	<u> 水されたこと</u>	になりますカ	<u>`。また、見直</u>	レ・廃止となりま

	 事務事業名	No.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u>ネジメント</u> 下水道使				<u> </u>	←実施討	 			
		7 No.				つくる				都市整備音		目を選択して	ください 下水道課
		4 No.		・施策27						下水道業務	-		喜重郎
		27 会計	款,			を通り							
	予算科目	下水	0 1 0 単年度の	1 0 1 2	0 0	0 3 単年度	0 0			1方自治法225 間限定複数年月		水追条例及	び規則
終.	事業期間 事業の概要(事業の具体的			_	L	' ——		<u> </u>			年度 ~	年度) <i>t-t</i> \\)
ヤ	衛生の向上、水質環境の同 用料を賦課徴収する事務で	攻善を目的に設置され					充てるため、禾		の子木と別れ	10/27年7年(0)	2, C 0/6 /·		<u> </u>
	事務に関しては東京都に多ついての事務、19年度より				 更用米	外の管理	理、減免認定	、単独下					
事	以大把握の部(PLAN)(DO) 務事業の目的と指標 段(主な活動)												
戊2	・及(主な冶動) 26年度の実績(平成26年原 く道使用料の管理、汚水認		下水(井戸)に	こついての事務、	、消雾	貴税の事	事務						
	27年度の事業計画(平成2 度と同様	7年度に計画している	(主な活動)										
	象(誰、何を対象にしてい <道利用者	るのか) * 人や自然資	 資源等							象をどう変える ·賦課徴収する			
	:果(どんな結果に結び付 げ 全域で、浸水及び公共用2		止することがで	<i>ごきる。</i>									
<u></u>	指標等の推移												
	項目		名称		j	単位	平成23年度 (決算)			平成26年度 (決算見込み)(B)			差額 (B)-(/
	手段 活動指標(事務 事業の活動量を表す				ア	件		497,411	1	1			
	指標)	汚水認定処埋処	正べ件数		イ	件		222	_				
	対象指標(対象の大きさを表す指標				ア	世帯		35,303	35,482	35,798	35,798		
	意図 成果指標(対象 における意図の達成	L			ア	円		971,523,913	977,918,676	974,020,312	998,465,000		
	度を表す指標)	徴収率	p /士/ -14 fff '7	- · - ·- = ·	イ	%		98.79	98.86	98.93	100		
)	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)				ア ()() イ	mg/l							
Þ	務事業コストの推移	11353 TE MB 1 (11353	·/С-тш Д/	пшшк	<u> </u>	,,,	亚宁00左东						
		項目 		N/		単位	平成23年度 (決算)	(決算)	(決算)(A)	平成26年度 (決算見込み)(B)	(当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(
		正	規職員従事 <i>)</i> 延べ業務時間	く数 引		人 時間		2 672	2 672	2 672	2 672		
	1 1-15 7 - 1		職員人件費 壬用職員従事			千円 人		3,360	3,360	3,360	3,360	0	
	人に係るコスト		延べ業務時間 用職員人件費	1		時間 千円		0	0	0	0	0	
			託職員従事 延べ業務時間			人 時間							
		嘱託	建へ来る時間 職員人件費記 に係るコスト計	†(E)		千円千円		3,360	3,360	3,360	3,360	0	
ŀ		<u> </u>	物件費			千円		98,031	96,984 96,984	100,815 100,815	107,501 107,501	U	3,8
	物に係るコスト		うち委託 維持補修費	·^†		千円 千円		98,031	90,984	100,815	107,501		3,8
		物に	係るコスト計	(G)		千円		98,031	96,984	100,815	107,501	0	3,8
			扶助費 補助費等			千円 千円							
	移転支出的なコスト		繰出金 その他			千円 千円							
ŀ		移転支	と出的なコスト	計(H)		千円		0	0	0	0	0	
L	その他	支出計(I)=(F)+(G)	その他			千円 千円		101 201	100.044	104.175	110.001		2.6
I			/+(H)					101,391	100,344	104,175	110,861	0	3,8
-		国庫支出金 都支出金				千円 千円							
ŀ		分担金及び負担 使用料及び手数				千円 千円		971,524	977,919	974,020	998,465		-3,8
ŀ		ス/3.7 (A) 3 (A) 繰入金 その他				千円 千円							
		ての追				117		 					
		収入計(J)				千円		971,524	977,919	974,020	998,465	0	-3,8

	評価の部(CHECK) * 原則は事後語	<u>評価、ただし</u>	700级干汉	尹未は処中に	ТІЩ					
公共	① 公共関与の妥当性	見直し ✔ 妥当で	余地がある		理由を記入】 理由を記入】	⇒	3 改革・改善	方向の部	に反映	
関	なぜこの事業を行政が行わなければな				は維持管理・運	営されてお	り、その徴収	に関する事	務である	ため。
性	らないのか?税金を使う必要がある か、民間や受益者ができる事業か?か									
	つ、行政が行うとした場合、国・都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?									
<u> </u>	② 成果の向上余地	向上余	地がある	⇒【以下に	理由を記入】	⇒	3 改革・改善	方向の部	に反映	
	成果を向上させる余地はあるか?成果		地がない		理由を記入】	しなわみてん	テってむり E	おおれる 禾	(証) てい	る。そのため、徴
	の現状水準とあるべき水準との差異は									る。そのため、 要望を出すとい
	ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?	うこととなる	5.							
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無		に理由を記	λ] ⇒3	改革・改善ス	方向の部に反	映		
 有	事務事業を廃止・休止した場合の影響	✓ 影響有 下水道事			源として運営さ	されているた	め、当該事業	業の廃止は	できない。	
ᇭ	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に		2,410.							,
評	役立っているか?)									
価										
	④ 類似事業との統廃合・連携の可		段がある		な手段,事務		_, _			
	能性 目的を達成するには、この事務事業以		廃合・連携が 廃合・連携が		⇒【以下に理由 ⇒【以下に理由		⇒3 改革	直•改善方[句の部に原	
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を	せん 他に手	段がない		理由を記入】	1 C 10 / 12				
	図ることにより、成果の向上が期待でき	類似事業	はない。							
洋	るか? 動指標・対象指標・成果指標の推移		. 性 証 /	动性亚布尔	ら目た 二の事	終事業の罪.	題け?			
		·、 4 六 闰 与	<u>┍╻┸╍┰╵</u> Щ、存	ᇄᄄᇚᄱᇄ	ったたこの争	ᇄᆓᅕᄱᅉ	K조16 :			
特 	に無し									
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確 保余地				る⇒【以下に い⇒【以下に			>3 改革•战	b善方向σ)部に反映
	成果を下げずに事業費を削減できない			削減を要望		生田で記入』				
効	か?(仕様や工法の適正化、住民の協 力など)									
率	さらなる歳入を確保できないか?	I del S D A	11 101 -	F	-m -t 1		_ = ++ = 1 *+			
性評	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地	▶ 削減余	き地がある き地がない		理由を記入】 理由を記入】	⇒	3 改革・改善	まう 同の部	に反映	
価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	平成21年	度より東京	都へ水道事業	きが返還され、		内にある水	首業務の窓	『口が東京	都水道局へ
	員以外の職員や委託でできないか?				をとられている 業のかなめでも		員以外の人員	員で行うこと	:は考えに	くい。
	(アウトソーシングなど)									
	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し	余地がある	⇒【以下に	理由を記入】	⇒	3 改革・改善	方向の部	に反映	
公	余地	✓ 公平・	公正である	⇒【以下に	理由を記入】		3 改革・改善	き方向の部	に反映	
平	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って	✓ 公平・: 利用者か	公正である ら下水道使	⇒【以下に 用料を徴収し	理由を記入】	・平である。				も大きいことから
平性評	余地	✓ 公平・: 利用者か	公正である ら下水道使 進課税とい	⇒【以下に 用料を徴収し	理由を記入】	・平である。				も大きいことから
平 性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	✓ 公平・ 利用者か 料金の累	公正である ら下水道使 進課税とい	⇒【以下に 用料を徴収し	理由を記入】	・平である。				も大きいことから
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・・ 利用者か 料金の累 公平な負	公正である ら下水道使 進課税とい 担である。	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい	理由を記入】 しているため公 ても、一度に	・平である。				も大きいことから
平性評価 事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	✓ 公平・・ 利用者か 料金の累 公平な負	公正である ら下水道使 進課税とい 担である。	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい	理由を記入】 しているため公 ても、一度に	・平である。				も大きいことから
平性評価 事特	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性に無し	✓ 公平・・・ 利用者か 料金の累 公平な負: 評価から見	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい う制度につい	理由を記入】 しているため公 でも、一度に は?	・平である。				も大きいことから
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・・・ 利用者か 料金の累 公平な負: 評価から見	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい う制度につい	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性に に無し 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果	✓ 公平・・・ 利用者か 料金の累 公平な負 評価から見	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・・・ 利用者か 料金の累 公平な負 評価から見 次年度計画	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務 を予算への	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT) ☆地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性に に無し 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果	✓ 公平・・・ 利用者か 料金の累 公平な負 評価から見 次年度計画	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT) ☆地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 三無し 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適	公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公平・公	公正である ら下水道使 追課税とい 担である。 たこの事務 を予算への	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT) 全地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	公平・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公正である ら下水道使 注課税とい 担である。 たこの事務 たこの事務	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT) 全地あり 全地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると			も大きいことから
平性評価 事特 3(1)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 公平・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	公正である ら下水道と下水道と 進担である。 たこの事務 ・ 見 直 直 直 直 直 直 直 直 1	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 事業の課題 ○反映)(ACT) 全地あり 全地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON)	・平である。 多くの排水を	流出させると	:下水道管	への負担 [*]	
平性評価 事特 3 (1)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連携 ないまからう見 ・連携	公正で水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 可業の で かった エ と 予 見 見 し に に に に に に に に に に に に に に に に に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい (事業の課題 (本あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に (は? ON) (2) 全体総	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革	への負担 [®]	る期待成果 (iは記入不要)
平性評価 事特 3(1)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 ・連事	公正で水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下水道と 下 見 見 見 見 見 見 見 見 見 見 可業の で かった エ と 予 見 見 し に に に に に に に に に に に に に に に に に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい (事業の課題 (ACT) (会地あり (会地あり (会地あり (会地あり (会地あり (会地あり	理由を記入】 ているため公 でも、一度に (は? ON) (2) 全体総	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革	への負担 で	る期待成果 (は記入不要) コスト
平性評価 事特 3(1) (3) /	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 から合しない) で連事 から合しない)	公正で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と の事事の 見見見可業改 では、 で水道と である で水道と の事事の に直直直で業改 での善(で) での善(で) で) で) で) で) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 第事業の課題 ○反映)(ACT 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会社のも 会社のも 会社のも のも 会社のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革	への負担 ではの ではの による による による	る期待成果 (iは記入不要)
平性評価 事特 3(1) (3) /	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 から合しない) で連事 から合しない)	公正で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と の事事の 見見見可業改 では、 で水道と である で水道と の事事の に直直直で業改 での善(で) での善(で) で) で) で) で) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 第事業の課題 ○反映)(ACT 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会社のも 会社のも 会社のも のも 会社のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 では に場合 に場合 が加減	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) /	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 から合しない) で連事 から合しない)	公正で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と の事事の 見見見可業改 では、 で水道と である で水道と の事事の に直直直で業改 での善(で) での善(で) で) で) で) で) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 第事業の課題 ○反映)(ACT 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会社のも 会社のも 会社のも のも 会社のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	みの負担本の負担に場合よらのは場合よらのは場合よらのは場合	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) /	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 から合しない) で連事 から合しない)	公正で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と の事事の 見見見可業改 では、 で水道と である で水道と の事事の に直直直で業改 での善(で) での善(で) で) で) で) で) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 第事業の課題 ○反映)(ACT 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会社のも 会社のも 会社のも のも 会社のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 では に場合 に場合 が加減	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) /	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 公者のなから ・連事 から合しない) で連事 から合しない)	公正で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と で水道と の事事の 見見見可業改 では、 で水道と である で水道と の事事の に直直直で業改 での善(で) での善(で) で) で) で) で) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	⇒【以下に 用料を徴収し う制度につい 第事業の課題 ○反映)(ACT 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会社のも 会社のも 会社のも のも 会社のも のも のも のも のも のも のも のも のも のも	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 ・	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) / (3) / (5)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 評 次 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	公正で 本 で 水 で 水 で 水 が の 事 を し に で 水 が の 事 の り は に で 水 が の の り に の き に の も に の も に の も に の も に の も に ら に の も に の も に の も に の も に の も に の も る ら の も る も の も の も の も の も の も る の も る の も る の も る の も る の も る の も る る の も る る る る る る る る る る る る る	⇒【以下に 用料度に 用料度に の に か の に は か の に い の に の に の に の に の に の に の は り の は り の し り の り の り の り の り の り の り の り の り	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 ・	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) / (3) / (5)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 評 次 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	公正で 本 で 水 で 水 で 水 が の 事 を し に で 水 が の 事 の り は に で 水 が の の り に の き に の も に の も に の も に の も に の も に ら に の も に の も に の も に の も に の も に の も る ら の も る も の も の も の も の も の も る の も る の も る の も る の も る の も る の も る る の も る る る る る る る る る る る る る	⇒【以下に 用料度に 用料度に の に か の に は か の に い の に の に の に の に の に の に の は り の は り の し り の り の り の り の り の り の り の り の り	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 ・	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) / (3) / (5)	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	→ 利料公 評 次 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	公正で 本 で 水 で 水 で 水 が の 事 を し に で 水 が の 事 の り は に で 水 が の の り に の き に の も に の も に の も に の も に の も に ら に の も に の も に の も に の も に の も に の も る ら の も る も の も の も の も の も の も る の も る の も る の も る の も る の も る の も る る の も る る る る る る る る る る る る る	⇒【以下に 用料度に 用料度に の に か の に は か の に い の に の に の に の に の に の に の は り の は り の し り の り の り の り の り の り の り の り の り	理由を記入】 ているため公 でも、一度に は? ON) (2) 全体総 か性改善)	・平である。 多くの排水を	流出させると	(4) 改革 (廃止· 4	への負担 ・	る期待成果 は記入不要) コスト 維持 増加
平性評価 事特 3(1) (3) V (3) V (5) 東	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	■	公正で 本 で 水 で 水 で 水 が の 事 を し に で 水 が の 事 の り が に で 水 が の の 事 の も し に で れ が の の き に の も に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の も の き に の き に の き に の き に の き に の も の き に の も の き に の も る ら る の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	⇒【以後に 用が 用が 用が ままで のの に は から は から は から は から は いから は いから は いから いから いから いから いから いから いから いから いから いから	理由を記入】	、平である。 多くの排水を 	流出させる。 反省点)	(4) 改止 (廃止・d 成果	な止、向上維持低下担担は場場に場減ののに場減の	る期待成果 (は記入不要) コスト 維持 増加 × × ×
平性評価 事特 3(1) (3) V (3) V (5) 東	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	■	公正で 本 で 水 で 水 で 水 が の 事 を し に で 水 が の 事 の り が に で 水 が の の 事 の も し に で れ が の の き に の も に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の き に の も の き に の き に の き に の き に の き に の も の き に の も の き に の も る ら る の も る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る ら る る る る る る る る る る る る る	⇒【以後に 用が 用が 用が は から は から は は から は は は は は は は は は は は	理由を記入】	、平である。 多くの排水を 	流出させる。 反省点)	(4) 改止 (廃止・d 成果	な止、向上維持低下担担は場場に場減ののに場減の	る期待成果 (は記入不要) コスト 維持 増加 × × ×

		事	務事業マネ	ジメント	シー	· 卜 (兼 事務	务事業ニ	ス	ト計算:	書)			
事	務事業名	<u>No.</u> 8		水洗化の	普及作	促進3	事業			←実施計 策	画上の重点	施 重点施策 ら該当項	に該当する ^は 目を選択して	
j	 政策名	No. 4		4 まち	ちをつ	つくる			所属		都市整備部			下水道課
	———— 施策名	No.		 施策27 ⁻	下水道	道の整	 L L L		所属	係		係課長	名 佐伯	喜重郎
- 1 7	 ·算科目	27 会計 下水	款項		事業:	コード			法令	根拠 下			<u> </u>	
	事業期間	卜水	単年度のみ		ノ 単	1 1		ļ	7	期	間限定複数年歷	芰		
務事業の概要		な手順、詳細。期間	 限定複数年度事	業は全体像	 を記述	<u>- — -</u> <u></u> 大)			 _の事	 ■業を開始		<u>年度 ~</u> つ、どのような	<u>年度</u> な経緯で開始	<u>)</u> したか)
下水道未使用住んでいる方	l者リストより所在 に了解を取り、現	都水道局の料金関係 地を確認後、訪問す 見場調査をする。 直管への接続を依頼	- る。	道未使用者り	リストを	作成。		戸 上 さ	所化が 助成制	が義務化さ 制度等が認 っなかった	れた。供用開 とけられ水洗ん	れ、一般家庭 開始後は、水汚 化が進んだが ド事業所等が	た化普及のた 、経済的理由	め、3年間の 1等で水洗化
事務事業の 手段(主な活成26年度の実 下水道未接続のお宅 公共下水道管成27年度の事 年度と同様 対象(誰、何?	動) 2績(平成26年度 ジストの作成 ・一訪問し、現況 ・一の接続依頼。 3業計画(平成27	に行った主な活動) 確認。 7年度に計画している 5のか)* 人や自然	5主な活動)								象をどう変える こ公共下水道	5のか) 音管へ接続をし	てもらう。	
内全域が浸え			ています											
<u> </u>			名称		単	.位	平成23年度	平成24年原	度 平	成25年度 #質)(A)	平成26年度	平成27年度 (当初予算)	目標年度	差額 (B)-(A)
) 手段 📥	活動指標(事務	訪問による現状			ア	件	(八开)	11	0	大井八八 71	71	(当初下 并)		
	事業の活動量を表す指標)	訪問による接続			1	件		1	.0	10	2	5		
)対象 🔷	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	市内の公共下ス	K道未接続世	帯数	アナ	世帯		99.		82 99.8	81 99.8	81 99.8		
意図 📥	成果指標(対象) における意図の達成	接続率(未接続	世帯/接続世帯	帯)	ア	%		33.		33.0	33.0	33.0		
	度を表す指標) 上位成果指標	雨水整備率(雨	水処理面積/	計画面積:	イ ×ア	%								
)結果 🗬	(結果の達成度を表 す指標)	雨天時放流水質		прыду	/ イ n									
事務事業コス	トの推移						平成23年度	平成24年	1 平	成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
1		項目 T	規職員従事人数			単位	(決算)	(決算)						(B)-(A)
		Ж.	^{祝戦員化争八数} 延べ業務時間		F	時間		1,35	5	1,350	12			-1,33
			·····											
1.1-	係るコスト	再任	!職員人件費計(C 任用職員従事人数			千円 人		6,75)	6,750 1	60	0	0	-6,69
	ほるコント	再任月	延べ業務時間 用職員人件費計(D)		時間 千円)	750 1,500	200 400	200 400	0	-55 -1,10
		嘱	託職員従事人数			人 時間					1 200	1 200		20
:		嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E こ係るコスト計(F	<u>≡</u>)	-	千円 千円		6,75)	0 8,250	300 760	300 700	0	30 -7,49
		ΛI·	物件費		:	千円		0,73		0,400	700	700	U	
	係るコスト		うち委託料 維持補修費			千円 千円								
		物に	に係るコスト計(G	<u> </u>		千円)	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等			千円 千円								
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		-	- ' ' ' ' 千円 千円								
		移転式	その他 5出的なコスト計((H)		千円)	0	0	0	0	
	その他		その他			千円								
		支出計(I)=(F)+(G)+(H)		-	千円		6,75)	8,250	760	700	0	-7,49
		国庫支出金				千円								
		都支出金 分担金及び負担	1金			千円 千円								
		グリステング 使用料及び手数 繰入金			-	千円 千円 千円								
		裸人宝 その他				千円								
		収入計(J)				千円)	0	0	0	0	
		収支差額(K)=(J)-(i	()			千円		-6,750)	-8,250	-760	-700	0	7,49
		一般財源投入割合				%		100	%	100%	100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則は	事後評値	西、ただし複数年度事	業は途中評	価		
公	① 公共関与の妥当性		見直し余地がある	⇒【以下にエ	里由を記入】 ⇒	·3 改革·改善	方向の部に反映
共即	┃ なぜこの事業を行政が行わなけれ		✓ 妥当である ◇衆衛生が向上すると	⇒【以下に現 衛生環境が		こたるので市	が行うのが妥当である。また、公共 ⁻
与	らないのか?税金を使う必要があ	ある。フ					>ても市で行うべきである。
性証	か、民間や受益者ができる事業かつ、行政が行うとした場合、国・都	か?か! Rが行					
価	う事業か、それとも市が行う事業が	か?					
	② 成果の向上余地	·		⇒【以下に取		·3 改革∙改善	方向の部に反映
	┃ 成果を向上させる余地はあるか?	?成果 耳	」 向上余地がない 見状では未接続世帯は	⇒【以下にヨ は71件と少な		こは経済的理	由で現在に至るケースが多いため
	の現状水準とあるべき水準との差ないか?何が原因で成果向上が		長期的な説得が必要で	きある。			
	できないのか?	`别付					
	③ 廃止・休止の成果への影響			理由を記入	、】 ⇒3 改革·改善;	方向の部に反	映
ī	┃ 事務事業を廃止・休止した場合の		/ 影響有 ⇒【その♪ ◇・衆衛生が向 ト したし		ある。また、悪臭などの!	皇気による苦!	情が減らないので困る。
ħ	の有無とその内容は?(そもそも)	. この	4次用工が「月工のなり	ع حالاال	0,0° 0,1° (10,0° 0,0° 0,0° 0,0° 0,0° 0,0° 0,0° 0,0°	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	ни имо от сы оо
Ē	事業は、施策の目的や公益の増 役立っているか?)	進に					
j							
	┃ ④ 類似事業との統廃合・連携	焦の司	他に手段がある	(目体的	 な手段, 事務事業)		
	能性		統廃合・連携がで	きる ⇒	【以下に理由を記入】	⇒3 改革	₺・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事 外他に方法はないか?類似事業		統廃合・連携がで ✓ 他に手段がない		【以下に理由を記入】		
	廃合ができるか?類似事業との過	連携を	了他に手段がない 「内に類似事業がない	〜【以下に¤ `。	生田で記入】		
	図ることにより、成果の向上が期で るか?	待でき		•			
	┃。 動指標・対象指標・成果指標 <i>0</i>	の推移、	公共関与性評価、有刻	効性評価から	ら見たこの事務事業の課	題は?	
	 に無し。						
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の 保余地				⇒【以下に理由を記入→【以下に理由を記入		3 改革・改善方向の部に反映
	成果を下げずに事業費を削減で	きない 量	■ 事業員門滅(蔵八曜) 最低限の事業費で行っ			4	
	か?(仕様や工法の適正化、住民	民の協					
	カなど) さらなる歳入を確保できないか?	,					
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の)削減	削減余地がある	⇒【以下に類		·3 改革・改善	方向の部に反映
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を	た当小試		⇒【以下に現		好けしわいた	難しい事業のため、今後、人件費が
	できないか?成果を下げずにより		9任用・嘱託を採用し 曽える可能性もある。	こだめ八十多	(は似つたか、止戦貝が)	付がしないと	細しい事業のため、行後、八件貨が
	員以外の職員や委託でできないが (アウトソーシングなど)	か?					
	(,), , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
	⑦ 受益機会・費用負担の適正	正化	見直し余地がある	⇒【以下に類	里由を記入】 ⇒	⋅3 改革・改善	方向の部に反映
	余地	·	✓ 公平・公正である	⇒【以下に類	里由を記入】		
	事業の内容が一部の受益者に偏いて不公平ではないか?受益者?	記つて ラウム	下水道人口普及率10)%であり、ī	市民は下水道の利用がて	できるので公平	である。
	が公平・公正になっているか?	只正					
	75-1-11			- W			
•	務事業コスト、効率性評価、公 に無し。	2半性評	<u>価から見たこの事務</u>	4業の課題に	<u> </u>		
•	1 – 7111 0 0						
;	評価結果の総括と今後の方向	向性(次:	年度計画と予算への		ON)		
	1次評価者としての評価結果				(2) 全体総括(振り返り		
	① 公共関与妥当性	✔ 適切	見直し余	地あり			しているため、生活環境の向上を図 家屋の老朽化および経済的理由に
		_					どであるため、粘り強く交渉を行う。
	② 有効性	適切	✓見直し余	也めり			
	③ 効率性	✔ 適切	■見直し余	地あり			
	④ 公平性	✔ 適切	見直し余:	地あり			
	今後の事業の方向性(改革改 廃止	双善 <i>系)</i> 業統廃合)方改善(有效	性改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善)		事業のやり方改善(公				↑. コスト
	」現状維持(従来通りで特に改革改 業としては終息の方向であるが			強くな狭たを	テっていきたい		
	米としては形心の力同であるか	パ、ハロ女川	死性 市 (これ) してはかり	国へ又砂です	1.2 (4.9/54.0		上
							成 集 持
							低
							X X
	改革, 改善を実現する上で解	2決すべ	き課題(壁)とその解え	· 策			
	期間宅地の中で汚物を蓄えて				ト接続世帯の大半が家 屋	屋の老朽化お。	よび経済的理由であるため粘り強く
	渉を行う。						
)	<目標達成基準, 見直し・廃	止基準)	>この事業はどのよう	な状態となれ	1ば目標が達成されたこ	とになりますか	か。また、見直し・廃止となりますか

				多事業マ	ネジメン	トシ-	<u>-</u> - (兼_事	多事業コ					
	事務事業	業名	<u>No.</u> 9		排水設值	備施工	検査	事業		←実施記 策	一		に該当する ^は 目を選択して	
	政策名	Ż	No. 4		4 ਰੋ	ŧちを [*]	つくる		Ē	•	都市整備音			下水道課
	施策名	 名	No.		施策27	7 下水	道の整	· ·備	Ē	所属係 一	下水道業務	係 課長	名 佐伯	喜重郎
		 ·目	27 会計 下水	款 J 0 1 0	頁 目 1 0 1 2		ミコード	Λ			水道法第10名 水道条例第3		項 第13条	
	事	業期間		単年度の		V	単年度総	<u>0: 0</u> 操 返	ļ	期.	<u></u>		左连	`
	- 事業の概要(事業)	の具体的	な手順、詳細。期間 付から指定店証交付事							の事業を開始	・(台した経緯(い 市内の区域([*]			したか)
一合務望任行立る。	ているのかどうかを見の内容) 事業者から国立市指技術者の申請を受付い。 方。市指定下水道工事所 後に竣工図面に基づ 現場検査をしながら、 費)消耗品費	申請図面に 旨定下水道 寸、登録を行 店から申請 き現場検査 、無届けで	に流入させるために必要 より確認し、工事終了 工事店の申請を受付後 テラ。また、国立市指定 図面を受付、要綱より 変を行う。図面と現場が 施工されている工事が	後に竣工図面(後、書類を確認 下水道工事店 審査を行う。要紹 異なる場合は、	こ基づき現場に し、不備がなけ; で責任技術者を 綱に則っていな 図面の変更また	おいて確 れば指定 を追加・ り い場合に たは手直	確認を行う では、修正指 にしを指導	う。 交付 場合に申請を 皆導を行う。そ 「する。	受付、登して、工事	化された。下 【係法令に適っ	共用開始され、 水道条例です 合しているかコ 検査業務を行	⊧水設備の設† □事完了後に	置者は工事前	方に申請し、
事手成章 医成年 対	下水道工事店申 技術者登録(新規 排水設備工事申 27年度の事業計画 度と同様 象(誰、何を対象!	指標 成26年度 請受付(新) 競・更付(3 動(平成27	名内排水設備の完了 年度に計画している のか)*人や自然資	主な活動)	ナ工事に対す	る指導		③ 意	図(この事業	によって、対	象をどう変える	5のか)		
新結片	果(どんな結果に]全域が浸水被害	えを行う公 結び付け から守られ	共下水道利用世帯 るのか)							下水道工事店 が不具合なく 	Fに迅速に指定 使用できる。 	言される。 		
	指標等の推移			名称		2	単位 I [□]	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
	項目	上 指標 _{(事務}	指定下水道工事		米布(安丘土田 。 可		炒	(決算)	(決算)	(決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
)		エポニナキナ	担处下小坦工= 排水設備工事兒			と材で	件		237	4. 7 425		350		
2)		指標(対象	指定下水道工事	事店受付件	数(新規•勇		件		24					
	W/Yee		排水設備工事言 指定下水道工事		請書受付件	牛数 イア	件件		291 220	297		350 223		
3)		る意図の達成	申請受付から指		行までに要		'-'		220	1	1 10			
<u>.</u>		成果指標)達成度を表	雨水整備率(雨				%							
事	務事業コストの推		雨天時放流水質	質のBOD値	•	1	mg/l							
			項目				単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)		平成26年度 (決算見込み)(B)		目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A
				規職員従事 <i>。</i> 延べ業務時間			人 時間		2 1,350	1	1 260	1 260		-41
							-31-3					200		
			正規	職員人件費 E用職員従事	計(C)		千円 人		6,750	3,375	1,300	1,300	0	-2,07
	人に係るコン	スト		延べ業務時間			時間 千円			500	800	800		30
			嘱	月職員人件費 託職員従事 <i>)</i>	人数		人		0	1,000	1,600	1,600 1	0	60
			嘱託	延べ業務時間 職員人件費	計(E)		時間 千円		0	0	800 1,200	800 1,200	0	80 1,20
			<u>人</u> [「係るコスト計物件費	⊦(F)		千円 千円		6,750	4,375	4,100	4,100	0	-27
3	物に係るコス	スト		うち委託 維持補修費			千円 千円							
	אוכואישרי	ΛI	that -											
ŀ			初に	「係るコスト計 扶助費	(G)		千円千円		0	0	0	0	0	
	移転支出的な	ニスト		補助費等 繰出金			千円 千円							
			投标式	その他	計(H)		千円 千円		0	0	0	0	0	
ŀ	その他		12 F Q X		H1 31 17									
L			<u> </u> 支出計(I)=(F)+(G)	その他)+(H)			千円 千円		6,750	4,375	4,100	4,100	0	-27
			国庫支出金				千円							
Į.			都支出金				千円							
, l			分担金及び負担 使用料及び手数				千円 千円							
ξ			繰入金 その他				子円 子円							
			収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I)			千円 千円		-6,750	-4,375	-4,100	-4,100	0	27
_			(K)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B)=(B	·			тп		1009	1009	4,100 6 100%	100%	#DIV/0!	21

	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	評価、ただし複数年度事業は途中評		
公共	① 公共関与の妥当性	見直し余地がある ⇒【以下にま ✓ 妥当である ⇒【以下にま	理由を記入】 ⇒3 理由を記入】	改革・改善方向の部に反映
関与性評		公共下水道管を維持管理している れていないと宅地内の管のつまりる	のは行政である。このため、	排水設備が関係法令に基づき適正に設置さ 損傷につながり使用者に悪影響を及ぼす恐れ
F	② 成果の向上余地			改革・改善方向の部に反映
	の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	指定工事店の認定は事業者の資料 整わないこともあるため、事業所に 能となると思われる。また、確認申記 は合格できている。	はチェックリストを示して資料 情を受けた工事は年度をまだ	迅速に認定されている。事業者の資料が全て 斗を整えるようにしてもらえれば、より迅速化が可 たぐことはあるが全て完了検査を行い、検査に
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下に理由を記力✓ 影響有 ⇒【その内容】	、 ⇒3 改革・改善方	向の部に反映
幼				等)があった場合に、提出図面を参照に現場で
	④ 類似事業との統廃合・連携の可		な手段、事務事業)	
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との絨 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	就廃合・連携ができない =せ 他に手段がない ⇒【以下にま水道の給水開始の際には届け出か	▶【以下に理由を記入】 ▶【以下に理由を記入】 理由を記入】 『出てくるため、既にその情	⇒3 改革・改善方向の部に反映 報を把握することで無届けの確認は行ってお
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有効性評価から	っ見たこの事務事業の課題	<u>は?</u>
特	に無し			
効	か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費削減(歳入確保)余地がある 事業費削減(歳入確保)余地がない 事業費は、消耗品として必要最低	ヽ⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映 の削減は、難しい。
	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃	理由を記入】 ⇒3	改革・改善方向の部に反映
評	会地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか?	✓ 削減余地がない ⇒【以下に要します。	理由を記入】 1名の体制を26年度から、 耳	F任用1名·嘱託1名の体制だが現状難しいため
	⑦ 受益機会·費用負担の適正化			
	余地		理由を記入】 ⇒3 理由を記入】	改革・改善方向の部に反映
性	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	指定下水道工事店は申請登録料(付の申請5,000円、責任者登録3,	(新規10,000円、更新5,000 000円)をいただいている。(円、証明書交付の申請200円、指定証の再交 也市とも同様の水準であり、公平である。 支払っていただいているため、検査のみで自
事	┃ 務事業コスト、効率性評価、公平性	 評価から見たこの事務事業の課題	<u></u> ‡?	
	に無し			
3	評価結果の総括と今後の方向性(_ 次年度計画と予算への反映)(ACTIO	ON)	
	1次評価者としての評価結果	<u>大干及計画と「昇</u> W/XX/(NOTA	(2)全体総括(振り返り、)	マ 国 国 国 国 に の 出 に つ い で は 、 現 れ の と ころ 指 定 下 水
	① 公共関与妥当性 🗾 適	団切 見直し余地あり	道工事店が徐々に増えて	FAの相定については、現在のところ相定ドホ いる傾向の中で、ある程度迅速に指定は出来 必要な書類を事業者が完全に揃えてもらうよう
	② 有効性 🗾 適	団切 見直し余地あり	に出来ればより迅速な対	応が可能となる。また、指定期間の長期化や
	③ 効率性 🗾 適	団切 見直し余地あり	設備の検査については、	F向上させることが必要である。また、宅内排水 現在のところ検査合格率100%であり、適正な
	④ 公平性 / 適	団 見直し余地あり	接続かり配となってあり、	今後も継続的に検査を行っていく。
・ ・ ・ ・ ナ) 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	合・連携	M性改善)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成 維 O × × (低 下 × ×
) 改革, 改善を実現する上で解決す・ 子化については、個人情報流出の危		が課題である。	
	た、指定期間の長期化についても、打			検証が必要となる。
(6)) <目標達成基準, 見直し・廃止基準	隼>この事業はどのような状態となれ	れば目標が達成されたこと(こなりますか。また、見直し・廃止となりますか?
1				

			事	務事業マネ	ジメント	シー	- -	(兼 事系	务事業=	スト討	算:	書)			
	事系	 务事業名	No. 10	雨	水浸透ま	す設	置助	成事業		←男 策	施計	画上の重点が		ほに該当する ^は 目を選択して	
			No. 4		4 ま	ちを	つくる	,		所属部	Ī	都市整備部			下水道課
		————— 拖策名	No. 27		施策27	下水	道の	 整備		所属係	干	水道業務位	系 課長	名 佐伯	喜重郎
	———— 予	 算科目	全/ 会計 下水	款 項 0 1 0 1	日 0 1 2	事業				 法令根拠	」国	立市雨水浸透	_ ます設置助	_ 成金交付要約	出
_	-	事業期間		0 1 0 1 単年度のみ			0: 4 単年度				期 □ □ →	間限定複数年度	 ₹ 年度 ~	 年度	`
)既下事)1.認①雨1.	存住宅又は 水内容) 発置希望者が 設置希望者が で内透透音で 水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まする 水水浸透まる のの のの のの のの 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水 水水	併用住宅に設置水流入軽減と地から国立市指定定現場の確認後決定通知書の設置工事日に立け設置工事完了 (PLAN)(DO)	な手順、詳細。期間 置する家屋の所有者 2下水,湧水の保全及 で下水道工事店を通じ ご交付作業。 ご会い検査を行う。 →2.設置業者より完	へ補助金を交付 び回復に資する して雨水浸透ます	する。 う。 計設置助成金	含交付	*申請		申請書の		<u>[</u>] [] []	した経緯(いっ	J. C. W. J.	よが在一样で 用火 <u>の</u>	UEBY)
一月成雨雨 成	段(主な活動 26年度の実 水浸透ます 水浸透ます 水浸透ます	助) 績(平成26年度 設置の受付事務 設置工事の現場	に行った主な活動) う 計立会いと現場検査 年度に計画している	う主な活動)											
人の新市多	又は法人(地 を除く。)の所 果(どんな 終 内全域が浸 摩川などのな	地方公共団体等 有者(下水道使 ま果に結び付け 水被害から守ら 公共用水域の良		宇又は併用住宅 者負担金および	E(新築増改き 市税を滞納し	築又に	は仮設ない者	された 水循環	図(この事 算 環がなされ、	によって 下水道へ	、対象 雨水	えをどう変える 流入が軽減さ	のか) れる。		
	指標等の推	移				١.,	¥ /⊥	平成23年度	┃平成24年月	痩 平成25	年度	平成26年度	平成27年度	▋目標年度	差額
	項	活動指標(事務	雨水浸透ます説	名称 医器助成全态	付由逹巫/		单位 —— 件	(決算)	(決算)	(決算)	(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
)	手段 🔷	石 期 扫 信(事務 事業の活動量を表す 指標)	附小/支近より前	《旦叨戍亚文》	17日間 (נו	" イ	7+				1				
)	対象	対象指標(対象 の大きさを表す指標)	雨水浸透ます説	是置助成金交	付申請件数	数ァ ィ	件			7	1	2	7		
3)	意図	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標) 上位成果指標	浸透ます設置基 検査合格率(検 雨水整備率(雨	査合格数/申		ア イ × ア	基 %		10	3	2 100	100	14 100		
4	結果 🗬	(結果の達成度を表す指標)	雨天時放流水質		可凹凹河	イ イ									
)事	務事業コスト	∼の推移				1		平成23年度	- ■平成24年原	♥ 平成25	年度	平成26年度	平成27年度	┃目標年度	差額
			項目 I 正	規職員従事人数	ī		単位人	(決算)	(決算)			(決算見込み)(B)	(当初予算)		(B)-(A)
			ш.	が、 延べ業務時間 が			時間		20)	20	10	10		-10
				聯昌【严罪 型》	<u> </u>		7 m		1.04		100	F.O.			
	人に信	系るコスト	再任	職員人件費計(E用職員従事人 なご業数時間			千円 人		100		100	50 1	50 1	0	-5(
		-	再任月	延べ業務時間 用職員人件費計 乳職員従事し数			時間 千円		()	0	10 20	10 20	0	10 20
				託職員従事人数 延べ業務時間			人 時間								
支出				職員人件費計(に係るコスト計(F			千円		100	,	100	0 70	0 70	0	-30
内				物件費 うち委託料			千円 千円		,						
沢	物に係	系るコスト		維持補修費			千円								
			物に	⊆係るコスト計(G 扶助費	i)		千円 千円		()	0	0	0	0	(
	移転支⊦	出的なコスト		補助費等 繰出金			千円千円		474	1	96	328	503		232
	¹I≯∓∆XL	HH1.0-1/11	49 a = →	株山並 その他 5出的なコスト計	(H)		千円		17	1	06	200	EUS	0	
	7	 ·の他	移転文 		<u>(</u>				474	± Control	96	328	503	0	23:
	1	· . 		その他)+(H)		+	千円 千円		574	1	196	398	573	0	203
			国庫支出金				千円								
収			超岸文田並 都支出金 分担金及び負担	全			千円 千円								(
入 内			使用料及び手数				千円								
訳			繰入金 その他				千円 千円								
			収入計(J)				千円		()	0	0	0	0	(
			収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合)	_		千円		-574 100		-196 100%	-398 100%	-573 100%	0 #DIV/0!	-202

2	評価の部(CHECK) * 原則に	は事後評価、				
公共	① 公共関与の妥当性			:理由を記入】	>3 改革・改善方向の部に及	支映
関与	なぜこの事業を行政が行わなけらないのか?税金を使う必要が	トればな 自然 ある	環境の向上は生活環境に繋		である。	
評	か、民間や受益者ができる事業 つ、行政が行うとした場合、国・ う事業か、それとも市が行う事業	都が行				
1	②成果の向上余地	✓ [>3 改革・改善方向の部に原	支 映
	成果を向上させる余地はあるか	?成果 市報	及びイベントによる広報活動		へ促進のお願いは既に行っ	ているが、助成対象に
	の現状水準とあるべき水準との ないか?何が原因で成果向上ができないのか?		:、増築物件も加えることは、反	以果の向上余地がある。		
	③ 廃止・休止の成果への影		影響無 ⇒【以下に理由を記 影響有 ⇒【その内容】	入】 ⇒3 改革・改善	方向の部に反映	
ᇭ	事務事業を廃止・休止した場合の有無とその内容は?(そもそう	の影響制度	があることにより、自然環境	の向上や浸水の防除につ	ながっていると考えられるカ	ため廃止・休止はでき
州	事業は、施策の目的や公益の均 役立っているか?)	曽進に	0			
価						
		携の可して		内な手段,事務事業) ⇒【以下に理由を記入】	→3 改革·改善方向 <i>の</i>	· 新二臣時
	目的を達成するには、この事務 外他に方法はないか?類似事		統廃合・連携ができない	⇒【以下に理由を記入】	→ 5 战车 ⁻ 战告为同0.	が一人の
	廃合ができるか?類似事業との 図ることにより、成果の向上が其	連携を 庁内	に類似事業は無い。	理由を記入】		
	るか?		ᆉᄩᄝᄫᅅᅑᄺᅟᆂᅒᄽᅑᄺ	♪ 目4.三の東敦東衆の誰	語ける	
	動指標・対象指標・成果指標 請件数が少なく成果が上げら			ら兄/ここの事份事業の味	(超は:	
Ψ,	⑤ 事業費の削減余地・歳入		事業費削減(歳入確保)余地があ	ス→「以下に珊山を記え	】 →3 改革.改善	方向の部に反映
	保余地 成果を下げずに事業費を削減で	✓ 4	事業費削減(歳入確保)余地がな 最低限であるため削減余地が	い⇒【以下に理由を記入		
	か?(仕様や工法の適正化、住力など)		・東仏成での公にの門幌末地/	よし。		
率	さらなる歳入を確保できないか^			· TO		- n.h
評	⑥ 人件費(延べ業務時間)(余地	v	削減余地がない ⇒【以下に	理由を記入】	>3 改革・改善方向の部に原	マ映
価	やり方を工夫して延べ業務時間できないか?成果を下げずによ	り正職	:限の人員で事業を行っている	らため削減余地なし。		
	員以外の職員や委託でできない (アウトソーシングなど) 	\D\?				
_	 ⑦ 受益機会・費用負担の適	正化 ✔ 月	見直し余地がある ⇒【以下に	理由を記入】 ⇒	>3 改革・改善方向の部に原	 ō映
公	余地 - 東本の中京 - 第3m ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **			理由を記入】	44.1 7日产いる 一、フレル ウ	r ktr (2-1-2) - 122 - 222 127
性	事業の内容が一部の受益者にいて不公平ではないか?受益者が公平・公正になっているか?		は雨水浸透ます設置助成金 である。このため、一部の受る。			「梨任名においては 追
評価						
車	 務事業⊐スト、効率性評価、:	公立性証価も	nに目たこの東 <u></u> 変東業の理題	il+ 2		
	物事来 1 へい、効平 1 年 1 画、. に無し	<u> </u>	での元にこの事物事末の赤極	10.:		
3	評価結果の総括と今後の方	向性(次年度	E計画と予算への反映)(ACT	ION)		
	1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り	、反省点)	活濁防止ができる合
	① 公共関与妥当性	✔適切	■見直し余地あり	流改善を合わせて検討		7.7.3.6.7.1.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7.7
	② 有効性	適切	✓ 見直し余地あり			
	③ 効率性	☑適切	■見直し余地あり			
	④ 公平性	適切	✓ 見直し余地あり			
	今後の事業の方向性(改革 廃止		複数選択可 携 ✓️事業のやり方改善(有:	効性改善)		善による期待成果 の場合は記入不要)
	事業のやり方改善(効率性改善 現状維持(従来通りで特に改革	•) 🗸 事	事業のやり方改善(公平性改善)	MICUE/	(ATT - WILL)	コスト 削減 維持 増加
雨;	水浸透ます設置助成制度に せて事業を行うことにより事業	ついて、年々	、申請件数が減少傾向なので	で助成対象を変えていく。	合流改善と合	(A)
4).	せて事業を117年とにより事業	ジス以早 を115) ₀		成維果持	×
					本 <u> </u>	××
	改革、改善を実現する上で				<u> </u>	
	水浸透ますを設置することで 対する金銭的な負担や最適が				寺できるため、設置数の増加]に努めたいが設置者
(6)	<目標達成基準、見直し・身	を止基準>こ	の事業はどのような状態とな	れば目標が達成されたこ	とになりますか。また、見直	し・廃止となりますか

事	 務事業名	No.	下水道協会参画事業	集(全国	、関東、	東京都)		←実施語 策	計画上の重点		こ該当する ⁵ 目を選択して	場合、ここか こください
ī	 政策名	No. 4	4 まち	をつく	る		所	<u>□□</u> 聚□□□ f属部	都市整備音			下水道課
	 施策名	No. 27	施策27 「	 F水道 <i>σ</i>)整備		所	f属係	下水道業務	係 課長名	4 佐伯	喜重郎
———— -	 ·算科目	全/ 会計 下水	款 項 目 0 1 0 1 0 1 2 0	事業コー	- ド		污	去令根拠		·		
		下小		<u>000</u> グ 単年					明間限定複数年原		<i>F</i>	`
	(事業の具体的		限定複数年度事業は全体像 る情報の提供を得ている。	 を記述)				 の事業を開ぬ	→ (昭和45 出した経緯(い	年度 ~ つ、どのような:	年度 経緯で開始) いしたか)
共用水域の清かでいるほな活動内容は下水道に関する。 習会等の開催 部組織である 実施している。 シを実施している。	らかな水環境の 例体である。 次のとおりである。 調査研究・下 ・下水道に関す 日本下水道協会 東京都下水道局 る。 (PLAN)(DO) 目的と指標	創造に資し、もって作る。 水道用規格の制定と ける啓蒙活動・下水 関東地方下水道協:	を行うとともに、その急速な普及 央適な生活環境の向上に寄与 と検査・下水道に関する施策 、道賠償責任保険の実施 会、東京都下水道協会にも加 事責任技術者講習会(毎年)と	よすること について 盟してい	を目的としての要望活る。両組織	て幅広い活 動 ・研修会 識とも研修会	会、等					
成26年度の実 水道に関する 所修会に参加し 水道賠償責任 成27年度の事 年度と同様	績(平成26年度 続情報の提供を受 た た 壬保険に加入した 業計画(平成27:				干	3) 意図(こ0 下水道に関: 事業に役立	する情	こよって、対 報収集や研	象をどう変える 修会等への参	のか) 加によって得た		 í市の下水道
万内全域で、浸		るのか) 域の水質汚濁を防」	上することができる。									
<u>)各指標等の推</u> 項				単位	平成234	年度 平成2	24年度	平成25年度	夏 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
	活動指標(事務	研修会参加者数		ア人	(八升	(決	·算) 4	(決算)(A)) (決算見込み)(B) 3 3	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
)手段 🔷	事業の活動量を表す指標)	水質管理責任者	首資格講習会参加者数	イ人			259		210			
)対象 🔷	対象指標(対象の大きさを表す指標)	下水道普及率(i	面積)	ア %			98.9	98.9	9 98.9	98.9		
	成果指標(対象	下水道普及率(ī	面積)	ア %			98.9	98.9	9 98.9	98.9		
意図 🗬	における意図の達成 度を表す指標)	サ淬→をあった。	つ体/小炭江河阜/	イ マ								
乳 結果 🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)		D値(水質汚濁量) 水処理面積/計画面積×	ア mg/ イ %								
事務事業コス			HI MM IX **		₩ (年度 平成2	4年度	平成25年度		平成27年度	目標年度	差額
1		項目 T:	規職員従事人数	単位	· (決算		第)		(決算見込み)(B)		(目標値)	左颌 (B)-(A)
		т.	祝職員化争へ致 延べ業務時間	時間			45	45	45	45		
		下規	職員人件費計(C)	千円	3		225	225	225	225	0	
人に	系るコスト	再日	E用職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	1				223			
		再任月 嘱:	引職員人件費計(D) 託職員従事人数	千F 人	3		0	0	0	0	0	
<u></u>		嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E)	時間 千円	3		0	0		0	0	_
支 出 		<u> </u>	- 係るコスト計(F) - 物件費	千円	3		225	225	225	225	0	
カ ┃ 訳 ┃ 物にイ	系るコスト		うち委託料 維持補修費	千円 千円	3 3 							
		物に	係るコスト計(G)	千円			0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等	千円 千円	3		215	217	' 213	213		
移転支	出的なコスト		繰出金 その他	千円 千円	3							
	での他	移転支	(出的なコスト計(H)	千円			215	217	213	213	0	_
	. V/ IE	支出計(I)=(F)+(G)	その他 H(H)	千円 千円			440	442	438	438	0	
		国庫支出金	-	千円				112	100	130		
収		国庫又出金 都支出金 分担金及び負担	<u>*************************************</u>	ー デア 千円 千円	3							
入 内		使用料及び手数	<u>业</u> 料	- 1 千円 - 千円 - 千円	3							
訳		繰入金 その他		千円	<u> </u>							
	ıl	収入計(J)	<u> </u>	千円			0	0	0	0	0	
		仅支差額(K)=(J)−(I 一般財源投入割合)	千円			-440 100%	-442 100	2 -438 % 100%	-438 100%	#DIV/01	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後語	評価、ただし	複数年度事	業は途中評価	i					
公	①公共関与の妥当性		≷地がある	<u>* [0 20 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>	由を記入】	⇒3 改革·ā	炎善方向の 部	部に反映		
与性	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か?かっ、行政が行うとした場合、国・都が行	V	0°0	→【以下に垤)	当を記入】					
	う事業か、それとも市が行う事業か?									
	② 成果の向上余地	✓ 向上余均 向上余均		⇒【以下に理! ⇒【以下に理!		⇒3 改革·ā	改善方向の部	部に反映		
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待 できないのか?					下水道事業に役立	てる。			
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 影響有	⇒【以下に ⇒【その内	理由を記入】 突】	⇒3 改革	▶・改善方向の部	こ反映			
効性	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)		する情報が		る。排水設備コ	二事責任技術者講	習会、水質的	管理責任者	資格講習:	会が
					手段,事務事					
	能性 目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との絨 廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき るか?	統廃 他に手段		_	以下に理由を 以下に理由を 由を記入】	· · · · ·	改革・改善力	万向の部に 別	豆映	
活	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与'	生評価、有效	性評価から	たこの事務事	業の課題は?				
特	になし									
勿	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	✔ 事業費能	削減(歳入確保	R)余地がない:	⇒【以下に理由 ⇒【以下に理由 :出されるため	を記入】	⇒3 改革·	改善方向の)部に反映	
率	さらなる歳入を確保できないか? ⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余均	小がなる	⇒【以下に理!	山た記 ス 【	⇒3괎茁⊷	改善方向の部	如1-6吨		
評	余地	✔ 削減余±	也がない	⇒【以下に理	由を記入】			即之及吹		
111111	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	負担金の文	2.払い及い切	が会を加り7	こめの人件質で	であり、削減不可能	<u> </u>			
r	⑦ 受益機会・費用負担の適正化 余地			→【以下に理Ⅰ		⇒3 改革·ā	改善方向の部	部に反映		
公平	余地	✓ 公平·公	正である	⇒【以下に理!	由を記入】		改善方向の部	部に反映		
平性		✓ 公平·公	正である	⇒【以下に理!			改善方向の音	部に反映		
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	✓ 公平・公 下水道の規	正である 見模により定と	→【以下に理! かられており、	由を記入】 公平・公正でむ		改善方向の部	部に反映		
平性評価 事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公 下水道の規	正である 見模により定と	→【以下に理! かられており、	由を記入】 公平・公正でむ		改善方向の音	部に反映		
平性評価 事特	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公 下水道の規 評価から見か	正である 見模により定と <u>ここの事務事</u>	→【以下に理り められており、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	由を記入】 公平・公正でむ		改善方向の音	部に反映		
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公 下水道の規 評価から見か	正である 見模により定と <u>ここの事務事</u>	→【以下に理し かられており、 業の課題は (ACTION	由を記入】 公平・公正でも ? ?) 2) 全体総括(:			部に反映		
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公 下水道の規 評価から見か 次年度計画	正である 見模により定と <u>ここの事務事</u>	→【以下に理し かられており、 業の課題は (ACTION	由を記入】 公平・公正でも ?)	්ටි		部に反映		
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公 下水道の規 評価から見が 次年度計画	正である 見模により定と ここの事務事 と予算への原	⇒【以下に理した かられており、 ・業の課題は で を映)(ACTION	由を記入】 公平・公正でも ? ?) 2) 全体総括(:	්ටි		部に反映		
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にななし 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適	✓ 公平・公 下水道の規 評価から見が 次年度計画。	正である 見模により定と この事務事	⇒【以下に理け かられており、 i業の課題は iを映)(ACTION (は で で で もあり しあり	由を記入】 公平・公正でも ? ?) 2) 全体総括(:	්ටි		部に反映		
平性評価 事特 3	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にななし 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性	マーム 公平・公下水道の財 で 本度計画 で は 切 に 切 に 切 に 切 に 切 に 切 に 切 に 切 に 切 に 切	正である 見模により定さ ここの事務事 と予算への原 見直し余よ	⇒【以下に理け かられており、 i業の課題は: z映)(ACTION (()) 也あり 也あり 也あり	由を記入】 公平・公正でも ? ?) 2) 全体総括(:	්ටි		部に反映		
平性評価 事特 3(1)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マー・公平・公本での方 では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本	正である 担模により定さ である 型模により定さ 一 である 一 である 一 である 一 である の事務事 一 一 見 直 し 余 は 一 日 日 直 し 余 は 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	⇒【以下に理! かられており、 i業の課題は: を映)(ACTION ()! 也あり 也あり 也あり	由を記入】 公平・公正で ? ? 2) 全体総括(等になし	්ටි	(4) 改革			
平性評価 事 (3)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マー・公平・公本での方 では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本では、一本	正である 担模により定さ である 担模により定さ 事務事 一 見 直 し 余 は	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : を映)(ACTION (()) 也あり 也あり 也あり 也あり	由を記入】 公平・公正で ? ? 2) 全体総括(等になし	්ටි	(4) 改革	 ・改善によ 休止の場合	は記入不コスト	要)
平性評価 事特 3(1) (3)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 公平・公 水道 の 水 がら見た で 本度計画 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	正である 担模により定さ シープ 見 面 直 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面	⇒【以下に理けたいでは、 正葉の課題は、 に映)(ACTION () 也あり 也あり 也あり 也あり もあり た改善(有効性 で発音)	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革	・改善によ休止の場合	は記入不	要)
平性評価 事特 3(1) (3) / 本	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	正である 提供により定さ 1	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION 他あり 也ありり 也ありり 也ありり もありの ででである。 ででである。 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 でき	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	・改善によの場合 削減 向上	は記入不 コスト 維持 増	要)
平性評価 事特 3(1) (3) / 本	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	正である 提供により定さ 1	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION 他あり 也ありり 也ありり 也ありり もありの ででである。 ででである。 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 でき	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	で は は は は は は は は は は は は は	は記入不コスト	要)
平性評価 事特 3(1) (3) / 本	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	正である 提供により定さ 1	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION 他あり 也ありり 也ありり 也ありり もありの ででである。 ででである。 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、でのでは、 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 でき	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	・改善による ・	は記入不 コスト 維持 増	要)
平性評価 事特 3(1) (3) / 本講	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次年 で	正である	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION (! 也ありり 也ありり もありででいる。	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	はは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	は記入不 コスト 維持 増	要) 加 ×
平性評価 事 (5) (3) / 本講 (5)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次年 で	正である	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION (! 也ありり 也ありり もありででいる。	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	はは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	は記入不 コスト 維持 増	要) 加 ×
平性評価 事 (5) (3) / 本講 (5)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マーム 次年 で	正である	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION (! 也ありり 也ありり もありででいる。	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善)	5る。	(4) 改革 (廃止·	はは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	は記入不 コスト 維持 増	要) 加 ×
平性評価 事	余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 下 次	正である。 世界により定さる。 一下でにより定さる。 一下でにより定さる。 一下でにより定さる。 一下でにより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではよりでは、ままままでは、まままでは、ままままで。 一下ではよりでは、ままままでは、ままままでは、ままままでは、ままままままで。 一下ではより定さる。 一下ではより定さる。 一下ではよりでは、ままままでは、ままままでは、まままままでは、ままままままで。 一下ではよりでは、まままままでは、ままままままでは、まままままままでは、ままままままままでは、まままままままま	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION (でする) 也	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善) 活動上必要で	ある。	(4) 改革(廃止	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は記入不 コスト 【維持】増	要) 加 × ×
平性評価 事特 3 (1) (3) / 本講 (5) 特 (6)	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ 下 次 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切 切	正である。 世でにより定さる。 でにより定さる。 事体により定さる。 事体により定さる。 事体により定さる。 事体により定さる。 事体により定さる。 事体によりである。 事体によりである。 事体によりである。 ではよりである。 ではよりである。 ではよりである。 ではませい。 ではまする。 ではまする。 ではまする。 ではまする。 ではまする。 ではまする。 ではまする。 にはまずる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 にはなる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。	⇒【以下に理! かられており、 注業の課題は : で映)(ACTION (でする) 也	由を記入】 公平・公正で ? ? 2)全体総括(きになし 改善) 活動上必要で	ある。	(4) 改革(廃止	で ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	は記入不 コスト 【維持】増	要) 加 × ×

				務事業マネ -	ジメント	シー	- - (兼 事	務事業 二	コスト			£ = -1-11	1 _=± √• 1 → •	B A == :
	事	务事業名	No. 15	公共	下水道立						←実施計 策 —	一画上の重点が		に該当するは 目を選択して	ください
	ַ	改策名	No. 4]	4 まち	を	つくる)		所属	部	都市整備部	所属	課 道路	下水道課
	ħ	拖策名	No. 27]	施策27 ¯					所属	系	水道業務	系 主幹	名 佐伯	喜重郎
	予	算科目	会計 下水		2 0 1 2 0) ()		0 0		法令		川市及び国立市公共		の委託に関する規	約及び附属協定
		事業期間		単年度のみ	<u></u>		単年度 — —	繰返 — — — —		[$-\bot$	\	年度 ~	年度)
			 な手順、詳細。期間 里については、立川†					めの建設負担				した経緯(い [・]			
事手成∷ 成2	務事業の 段(主な活 26年度の実 市錦町下水	動) 績(平成26年度 処理場建設工事	に行った主な活動) 事費の一部を負担金 7年度に計画している	-											
卵結結	処理分区の 果(どんな)	下水道利用者 詰果に結び付け	6のか) * 人や自然資 るのか) (域の水質汚濁を防									象をどう変える か向上させ、常		利用できるよ	うにする。
	_{王 啖} ご、浸 / 指標等の推		、	正す ることか ぐさ	්. 										
-	頂			名 称		単	並	平成23年度 (決算)				平成26年度 (決算見込み)(B)			差額 (B)-(<i>A</i>
)	手段 🔷	活動指標(事務 事業の活動量を表す 指標)	公共下水道立力	川市共同施行	事業負担金	アイ	千円	(/ ()	87		1,863	1,642	1	(LI TAKILE)	(2) ()
)	対象	対象指標(対象の大きさを表す指標)	青柳処理区下力			ア イ	%		10		100	100	100		
)	意図	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	青柳処理区下2			イ	%		99.	6	99.8	99.7	99.7		
)	結果 🔷	上位成果指標 (結果の達成度を表 す指標)	放流水質のBO 雨水整備率(雨			ア									
事	務事業コス	トの推移						平成23年度	平成24年	女 平	₩25年度	 平成26年度	平成27年度	目標年度	差額
_			項目 T 正	規職員従事人数	1		単位人	(決算)	(決算)		スピッテス と <u>算)(A)</u> 1	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A
				ת極負化争スジ 延べ業務時間	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		時間		1	0	10	10	10		
			T= #1	職員人件費計(<u></u>		千円		5	<u> </u>	50	50	50	0	
	人に	系るコスト	再任	・ E用職員従事人 延べ業務時間	数 数		人時間		0	9	50		30		
			再任戶	用職員人件費計	(D)		千円			0	0	0	0	0	
			偶	託職員従事人数 延べ業務時間			人 時間								
				職員人件費計(に係るコスト計(F			千円		5	0	0 50	50	50	0	
				物件費 うち委託料			千円 千円								
	物に	系るコスト		維持補修費			千円								
ŀ			物(:	⊆係るコスト計(G 扶助費	i)		千円			0	0	0	0	0	
	移転支	出的なコスト		補助費等 繰出金			千円 千円								
	15+421	TH1.9-17(1	ギタ まこ ゴ	<u>保出金</u> その他 を出的なコスト計	<i>/</i> ⊔\		千円 千円			0	0	0	0	0	
ŀ		 : : : : : : : : :	↑ グ 甲ム ス		(n)					0		U	U	0	
L		· - 	 支出計(I)=(F)+(G	その他)+(H)			千円		5	0	50	50	50	0	
			国庫支出金				千円								
ι			西保文出业 都支出金 分担金及び負担	一条			千円 千円		87	0	1,863	1,642	1		-2
;			使用料及び手数	- 3/-1			千円		01		1,000	1,042	1		
			繰入金 その他				千円 千円								
<u>[</u>			収入計(J)				千円		87		1,863	1,642	1	0	-2
	_		収支差額(K)=(J)-(I 一般財源投入割合	()		目	千円 %		82 -1640		1,813 -3626%	1,592 -3184%	-49 98%	0 #DIV/0!	-2

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記	半価、たたし後数年度手	∮業は途中評価		
	① 公共関与の妥当性			⇒3 改革・改善方向の部に	こ反映
共関	┃なぜこの事業を行政が行わなければな	✓ 妥当である下水道事業け市が行	⇒【以下に理由を記入】 うべき性格のものであり、公衆衛	5生が向上すると衛生環境が改	盖されるため妥当であ
与	らないのか?税金を使う必要がある		点からみても妥当である。	TANTAL DEMINANTA	
性	か、民間や受益者ができる事業か?かつ、行政が行うとした場合、国・都が行				
価	う事業か、それとも市が行う事業か?				
	② 成果の向上余地	向上余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部	こ反映
		✓ 向上余地がない	⇒【以下に理由を記入】	□ 1 ~1 \ 7	
	成果を向上させる余地はあるか?成果 の現状水準とあるべき水準との差異は	以及争業に対りる負担	旦制合かヨ時の計画水重で伏り	足している。	
	ないか?何が原因で成果向上が期待				
	できないのか?			7-X-1-0-00	
	③ 廃止・休止の成果への影響	影響無 ⇒【以下[✓ 影響有 ⇒【その[・改善方向の部に反映	
有	事務事業を廃止・休止した場合の影響		k処理が滞り、適切な下水道運	営ができなくなる。	
効	の有無とその内容は?(そもそも、この 事業は、施策の目的や公益の増進に				
評	では、他来の日的でムーの場面に ではつているか?)				
価					
	② 契加主業 Lの仕立入 注集の	ルーナロルシナフ	/日什奶扒工机 市效市业	-1	
	④ 類似事業との統廃合・連携の可 能性	他に手段がある 統廃合・連携がて	(具体的な手段,事務事業 できる ⇒【以下に理由を記		の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以	統廃合・連携がで			
	外他に方法はないか?類似事業との統 廃合ができるか?類似事業との連携を		⇒【以下に理由を記入】	ンパエルーナフ	
	図ることにより、成果の向上が期待でき		川市の下水処理場を利用するの	が多当である。	
	るか? ************************************			W	
<u></u>	動指標・対象指標・成果指標の推移	、公共関与性評価、有	郊性評価から見たこの事務事	美の課題は?	
立	川市錦町下水処理場を廃止し、北二	L処理場で処理の計画7	が現在進行中であるため、この	事業の見直しを協議中である。	
Г	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確		保)余地がある ⇒【以下に理由を		善方向の部に反映
	┃保余地 ┃成果を下げずに事業費を削減できない		:保)余地がない ⇒【以下に理由を き費の削減を行っている。	[記人]	
L	か?(仕様や工法の適正化、住民の協	立/川川(に401 (、手木	(首 /) [1] かく () ()		
効変	カなど) さらなる歳入を確保できないか?				
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に	こ反映
評	余地	✔ 削減余地がない	⇒【以下に理由を記入】	- 311 31 21 3 3 4 1	
価	i やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職	年1回の負担金支払事	手務のみのため。		
	員以外の職員や委託でできないか?				
	(アウトソーシングなど)				
\vdash	<u>┃</u> ⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地がある	⇒【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に	- 反映
	余地	✓ 公平·公正である	→【以下に理由を記入】	, o w + w = 1, 1, 0, 0, 1, 1	
公平	 事業の内容が一部の受益者に偏って		る以上、間接的に青柳一部地	域以外の住民負担がないわけ	でけないが 偏っている
1性	: いて不公平ではないか?受益者負担	とまでは言えない。	05.m(145(4, 145) His 2	у (у	The state of the s
評	が公平・公正になっているか?				
1					
	 務事業コスト、効率性評価、公平性				
	務事業コスト、効率性評価、公平性 川市錦町下水処理場を廃止し、北コ			事業の見直しを協議中である。	
立	川市錦町下水処理場を廃止し、北二	_処理場で処理の計画 ½	が現在進行中であるため、この	事業の見直しを協議中である。	
立 3		_処理場で処理の計画 ½	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振	り返り、反省点)	=1.13
立 3	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(?	処理場で処理の計画を 次年度計画と予算への	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振 将来的には、北-		 ELN.
立 3	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適	が 次年度計画と予算への 切 □見直し余	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振 将来的には、北二	り返り、反省点)	ELIV.
立 3	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適	が 切	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振 将来的には、北二 地あり	り返り、反省点)	ELU'.
立 3	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適	処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切 見直し余切 見直し余切 見直し余	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点)	=
立 3	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適	処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切 見直し余切 見直し余切 見直し余	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま	
立 3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適	処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま	改善による期待成果
立 3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 今後の事業の方向性(改革改善案 廃止	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切り 切り見直し余切り 切り見直し余切り 切り見直し余り 切り見直し余り 切りまする 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま	
立 3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への 切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余 い・複数選択可合・連携 事業のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・i (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 、 削減 維持 増加
立 3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 公平性 ✓ 適 ● 公平性 ✓ 適 ● 公平性 ✓ 適 ● 公平性 ✓ 適	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への 切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余 い・複数選択可合・連携 事業のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・i (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
立 3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切り 切り見直し余切り 切り見直し余切り 切り見直し余り 切り見直し余り 切りまする で複数選択可合・連携り で連携のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切り 切り見直し余切り 切り見直し余切り 切り見直し余り 切り見直し余り 切りまする で複数選択可合・連携り で連携のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 維 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切り 切り見直し余切り 切り見直し余切り 切り見直し余り 切り見直し余り 切りまする で複数選択可合・連携り で連携のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 、、、、 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 〇 ×
3 (1)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	 処理場で処理の計画が欠年度計画と予算への切り 切り見直し余切り 切り見直し余切り 切り見直し余り 切り見直し余り 切りまする で複数選択可合・連携り で連携のやり方改善(ない) 	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 、、、、 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 O ×
3(1) 将	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 公平性 ✓ 適 事業のたり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし 来的には、北二処理場へ流入するご	次年度計画と予算への 切 見直し余切 見直し余切 見直し余切 見直し余句 見直し余句 見直し余句 見直し余句 はりままである。	が現在進行中であるため、この 反映)(ACTION)	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 、、、、 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 〇 ×
3 (1) (3) (5)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ 適 ② 有効性 ✓ 適 ③ 効率性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ④ 公平性 ✓ 適 ● 会後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃 事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	次年度計画と予算への 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 か ま数選択可 合・連携 するやり ない) とが望ましい。	が現在進行中であるため、こので 	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 〇 ×
3 (1) (3) (5)	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② う数率性 ② 適 ② か事業の方向性(改革改善案) 原止 「対策では、水上のでは、水上のでは、水上のでは、水上の理場へ流入することが、水上のでは、水上のでには、水上のでには、水上のでが、水上のでは、水上のが、水上のでは、水上のいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいいが、水上のいいいいいは、水上のいいいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいは、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいは、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のい	次年度計画と予算への 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 か ま数選択可 合・連携 するやり ない) とが望ましい。	が現在進行中であるため、こので 	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 〇 ×
3 (1) (3) ~ 将	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② う数率性 ② 適 ② か事業の方向性(改革改善案) 原止 「対策では、水上のでは、水上のでは、水上のでは、水上の理場へ流入することが、水上のでは、水上のでには、水上のでには、水上のでが、水上のでは、水上のが、水上のでは、水上のいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいでは、水上のいいいいが、水上のいいいいいは、水上のいいいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいは、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいは、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のいいが、水上のい	次年度計画と予算への 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 切 見直し余 か ま数選択可 合・連携 するやり ない) とが望ましい。	が現在進行中であるため、こので 	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維 〇 ×
3 (1) (5) 立	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 3 効率性 ④ 公平性 ② 適 ④ 公平性 ② 適 ● 第業の方向性(改革改善案無免事業が免事業のかり方改善(効率性改善)事業統免事業が免さまる。 現状維持(従来通りで特に改革改善をしまれる。) 以本、改善を実現する上で解決する。 」 以本、改善を実現する上で解決する。 」 以本、改善を実現する上で解決する。 」 以本・改善を実現する上で解決する。 」 は、またには、北上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		が現在進行中であるため、こので 反映)(ACTION) (2)全体総括(振将来的には、北上地ありに地ありには、北上地ありが地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維持 〇 × 低下 × ×
3 (1) (5) 立	川市錦町下水処理場を廃止し、北二 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 効率性 ② 分変性 ② 効率性 ② 効率性 ② 適 ③ 効率性 ② 強事業の方向性(改革改善案無廃止 国事業のかり方改善(効率性改革改善を実現する上で解決すると、北二処理場を廃止し、北二川市錦町下水処理場を廃止し、北二		が現在進行中であるため、こので 反映)(ACTION) (2) 全体総括(振将来的には、北上地ありに地ありには、北上地ありが地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地ありが、地	り返り、反省点) 二処理場へ流入することが望ま (4) 改革・ (廃止・休 成果	改善による期待成果 止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 維持 〇 × 低下 × ×

接動機性 (編集			事利	务事業マネジメント	シ	ート	(兼 事系	务事業:	コスト計算	(書			
新東名 1		事務事業名		流域下水道北多	摩_	二号朝	線建設事	業		計画上の重点			
		政策名	4	4 ま	ちを	つくる	3		所属部	都市整備部	所属:	課 道路	下水道課
*** ・		施策名	27						所属係	下水道業務	係 主幹	名 佐伯	喜重郎
# 美田田 日本であり 日本であり 日本を表 日本に対している。		予算科目		款 項 目 0 1 0 1 2 1 2 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1	事: 0_0	業コーI) 0 9	` 0 0		法令根拠				
日 帝国主体と 7 本の観光を終す。 (小女のよう、高田・大田の本の) 中国 (中国・大田の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の) と (中国・大田の本の本の本の) と (中国・大田の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本の本			·	単年度のみ	L	単年度	E繰返			→ (年度 ~	年度)
様子の高に、様型の作用を対すためているのできたできたいできたの人。実施の一分できたできたであった。 「中国の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の							場を利用して						
1) 事責を表の言語という。	除、処理を目 係る費用を東	l的としたもので、国立 東京都へ負担金とい	立市では一部地域を う形で支払っている。	除いて北多摩二号水再生や	センタ	一で行	うっており、そ	の建設に				, 12 3	
□ 野経(全の活動) 平成2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業計画(平成27年度に計画している主な活動) 中収2年度の事業によって、対象をどう変えるのか) 本格書度となる情報に描い行けるのか。 ・大日本度となる情報に描い行けるのか。 ・大日本度となる情報に描い行けるのか。 ・大日本度となる情報に描いたけれるのか。 ・大日本度となる情報に対しませない。 ・大日本度となる情報に対しませない。 ・大日本度となる情報に対しませない。 ・大日本度となる情報に対しませない。 ・大日本度となるない。 ・大日本度となるないない。 ・大日本度となるない													
特成市の決敗下水産事業により込み時期を関することができる 全様形であるの大きで、日本人などの表別が表のか性的である方面によるというできる 28 日曜子の大きで、日本人などの表別が表のか性のである方面によるというできる 3 日曜子の大きで、日本人などの大きの場合の上することができる 19 日本の大きの大きの場合の上することができる 19 日本の大きの大きの場合の上することができる 19 日本の大きの場合の上することができる 19 日本の大きのようによっていまる。 19 日本の大きの場合の上することができる 19 日本の大きのようによっていまる。 19 日本の大きのようによっないまる。 19 日本の大きのようによっないまないでは、19 日本の大きのようによっていまる。 19 日本の大きのようによっていまる。 19 日本の大きのようによっないま	① 手段(主龙平成26年度) 平成26年度(北多摩二号 中成27年度(は活動) の実績(平成26年度 幹線流域下水道建設 の事業計画(平成27	役負担金を支払った 。										
金元で大直子楽により万谷様、外生組成の発信 金元で大直の文字・宏信による良かな構成を全の推定 本語である。 金元で大方の文字・宏信による良かな構成を全の推定 本語である。 金布で、文木なが立本力の域の木だの場合的止することができる 一個													
①発展であるが出来に続け付けるのか) 市内も安で、使水をぴか失用に続け付けるのか) 市内も安で、使水をぴか失用は水炭の水質内容を移止することができる 「項目 名称 単位 (決算) (決策) (決策) (決策) (決策) (決策) (治療38.85.61回 (金和子卯) (目標部) (B) ① 手段 (決策) (決策) (決策) (決策) (公表) (公表) (公表) (公表) (公表) (公表) (公表) (公表	構成市の流り	或下水道事業におけ	ける幹線、処理施設の										
部内を保で、浸水及び今月用水域の水質汚濁を防止することができる 項目 名称													
振り				止することができる			······• , —— == ==						
日本	②各指標等	の推移											
① 手段		項目		名称		単位	平成23年度 (決算)	平成24年	度 平成25年 (決算)(A	度 平成26年度 A) (決算見込み)(B)	平成27年度 (当初予算)	目標年度 (目標値)	差額 (B)-(A)
対象・神経	① 手段 [事業の活動量を表す	建設負担金額		ア	千円				i i			
③ 意図	② 対象 🛮	対象指標(対象		備費	1 ア イ	· 千円 人							
株式の主義経験 株式の主義経験	③ 意図 [における意図の達成			ア イ		2		2	2 2	2		
項目 単位 単成20年度 平成20年度 平成26年度 平成26年度 平成27年度 目標年度 接換算 (決算) (A) (28月3-67年度 日標度) (担報度) (担证度) (证证度) (证证度度) (证证度)	4 結果	(結果の達成度を表			ア								
単型 (映算) (決算) (決算) (入 (以享) (以等) (目 (日本) (日 (日本) (日 (日本) (日本) (日	(3)事務事業:				1	<u> </u>		L					
基本学的時間 時間 55 65 65 65 65 65 65 6						単位							差額 (B)-(A)
大に係るコスト 再任用職員が準入数 大の他 子円 189,256 96,453 91,812 169,869 68,490 0 7 189,501 189,			正	規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間	65	6	5 6	65 65	65		C
大に係るコスト 再任用職員が事人数 人 運航化職員が事人数 人 運航化職員が事人数 人 運航化職員が事人数 人 運航化職員が事人数 人 運航化職員が事人数 人 運航化職員が事務時間 時間 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0													
大に除るコスト 延べ業務時間 時間 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		- 57 - -				_	325	32	5 32	25 325	325	0	(
東江職員従事人数 人 選託職員人件責計(E) 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		へに徐るコスト		延べ業務時間		時間	0		0	0 0	0	0	(
支出内の訳 (嘱託職員人件費計(E) 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			嘱	託職員従事人数		人							
かに係るコスト 1元	支		嘱託	職員人件費計(E)		千円			Ů.	ů ů	ů		(
物に係るコスト 維持補修費 千円 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				物件費		千円	323	32	32	323	320	U	(
接転支出的なコスト 福助費等 千円 189,256 96,453 91,812 169,869 68,490 7	- n	勿に係るコスト		維持補修費		千円							
移転支出的なコスト				「係るコスト計(G)		千円			0	0 0	0	0	(
その他 千円 189,256 96,453 91,812 169,869 68,490 0 7 その他 その他 千円 189,581 96,778 92,137 170,194 68,815 0 7 下円 下円 189,581 96,778 92,137 170,194 68,815 0 7 下円 下円 189,581 96,778 92,137 170,194 68,815 0 7 下円 189,581 96,778 92,137 170,194 68,815 0 7 下円 189,581 7 7 7 7 7 7 7 7 7	Th. 4	= + : 山 45.4> → -		補助費等		千円	189,256	96,45	3 91,81	2 169,869	68,490		78,057
その他 その他 千円 189,581 96,778 92,137 170,194 68,815 0 7 正庫支出金 千円	移動 	A文出的なコスト	~	その他		千円	100				22		(
大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田		その他	移転支				189,256	96,45	3 91,81	2 169,869	68,490	0	78,057
国庫支出金		C 47 IE	 支出計(I)=(F)+(G)		••••	_	189,581	96,77	8 92,13	170,194	68,815	0	78,057
収入内内訳 有理会及び負担金 千円 日本日本 日本日本 内内訳 使用料及び手数料 千円 156 2,353 212 569 90 90 その他 千円 189,100 94,100 91,600 169,300 68,400 7 収入計(J) 千円 189,256 96,453 91,812 169,869 68,490 0 7 収支差額(K)=(J)-(I) 千円 -325 -325 -325 -325 -325 0										, -	,		(
内内訳 使用料及び手数料 繰入金 千円 千円 156 189,100 2,353 94,100 212 91,600 569 169,300 90 68,400 7 収入計(J) 千円 収支差額(K)=(J)-(I) 千円 千円 千円 千円 -325 189,256 -325 -325 96,453 -325 -325 -325 91,812 -325 -325 -325 169,869 -325 -325 68,490 -325 -325 0			都支出金	<u>*************************************</u>		千円							(
訳	内		使用料及び手数			千円	150	0.05	2 0	9 ECA	00		357
収入計(J)			裸八宝 その他			千円	189,100	94,10	0 91,60	2 569 0 169,300	68,400		77,700
収文差額(K)=(J)=(I) 十円 -325 -325 -325 -325 0 一般財源投入割合 % 0% 0% 0% 0% 0% 0% #DIV/0!			収入計(J)										78,057
			以文 差額(K)=(J)−(I 一般財源投入割合	<u> </u>		_						_	(

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後記				
	① 公共関与の妥当性		!がある ⇒【以下		・3 改革・改善方向の部に反映
共関	しなぜこの事業を行政が行わなければな	✓ 妥当である 流域下水道と		に理由を記入】 行政が行わたければからか	ない事業であることは自明であり、
与	らないのか?税金を使う必要がある	流域幹線が整			が良くなり、住みやすい町になる。
性	か、民間や受益者ができる事業か?か	よって環境の	保全、効率性を鑑	みると妥当である。	
	つ、行政が行うとした場合、国・都が行 う事業か、それとも市が行う事業か?				
٣	②成果の向上余地	向上余地が	ヾなる →【い下	に理由を記入】 ⇒	・3 改革・改善方向の部に反映
	② 成未の向工赤地	✓ 向上余地が		に理由を記入】	3 以単・以告が同の命に及吹
	成果を向上させる余地はあるか?成果				O他の管理については東京都の責務であり、その
	の現状水準とあるべき水準との差異は		は市の負担とされ		
	ないか?何が原因で成果向上が期待				
	できないのか?	D (687 (-	[
	③ 廃止・休止の成果への影響		⇒【以下に理由を ⇒【その内容】	記人】 ⇒3 改車・改善。	方向の部に反映
有	 事務事業を廃止・休止した場合の影響			運堂ができなくなる。 当然(主環境に与える影響も大きい。
ᇷ	の有無とその内容は?(そもそも、この	73717222771	17 (12 9) 6 1 71 12	EEE' CC'S (S O. J.M.)	エスペラルに ゴブに ロボブ 自 ロブへこ ひ 。
性	事業は、施策の目的や公益の増進に				
評					
価					
	▲ ④ 類似事業との統廃合・連携の可	他に手段が	ぶねみ (目れ	的な手段,事務事業)	
	他 類似争果との机焼口・運捞の円 能性		・める (ス M ・連携ができる	→【以下に理由を記入】	⇒3 改革・改善方向の部に反映
	目的を達成するには、この事務事業以	統廃合	・連携ができない		
	外他に方法はないか?類似事業との統			に理由を記入】	
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき		東京都流域下水	道計画に沿って行われてい	る。
	凶ることにより、放果の向上が期待でさ るか?				
洋	┃°゚゚ 動指標・対象指標・成果指標の推移	 小土関与世	孪価 右动性弧体	から見たこの事務事業の罪	題は?
	<u> 新田県・八家田県・瓜米田県の地</u> 名 になし	、ムハステに		フラロ・ニーマノナ 1カ デ木ツ 杯	
"					
\vdash		±	부/교투 및 포뉴/미 / 스 (1 · · ·	+ 7 → [N = 1- = 1 + = 1	
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確			ある⇒【以下に理由を記入	
	保余地 成果を下げずに事業費を削減できない	▶ 事果質則源 東京都海域下	w、 w、八唯休ノ 赤地か S水道計画にシンベ	ない ⇒【以下に理由を記入 て事業を運営し、負担金を3	♪ ラオンっていろため削減全地がたい
	┃か?(仕様や工法の適正化、住民の協	水水和机构	八色町画(Ciu)	く事未で任旨し、只担业でプ	こうなっていることの自分が表別できなっ。
効	カなど)				
	さらなる歳入を確保できないか?				
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減	削減余地力			・3 改革・改善方向の部に反映
	余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減	✓ 削減余地が 毎年会説明会		に理由を記入】 事務等であり、これ以上削減	ナステレけ部しい
""	できないか?成果を下げずにより正職	貝担金酰奶子	マクロ	事務寺でめり、これ以上別例	りることは無してい。
	員以外の職員や委託でできないか?				
	(アウトソーシングなど)				
ı					
\vdash					
\vdash	⑦ 受益機会・費用負担の適正化	見直し余地	!がある ⇒【以下	に理由を記入】 ⇒	・3 改革・改善方向の部に反映
分	余地	見直し余地 公平・公正			3 改革・改善方向の部に反映
	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って	✓ 公平·公正	である ⇒【以下	に理由を記入】	
平性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	✓ 公平·公正	である ⇒【以下 務は一般会計から	に理由を記入】	3 改革・改善方向の部に反映 系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても
平性評	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正 雨水に係る債	である ⇒【以下 務は一般会計から	に理由を記入】	
平性	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正 雨水に係る債	である ⇒【以下 務は一般会計から	に理由を記入】	
平性評	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平·公正 雨水に係る債	である ⇒【以下 務は一般会計から	に理由を記入】	
平性評価	余地 事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため	である ⇒【以下 務は一般会計から り公平である。	に理由を記入】 らの繰入金で負担、汚水に6	
平性評価 事	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担 が公平・公正になっているか?	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため	である ⇒【以下 務は一般会計から り公平である。	に理由を記入】 らの繰入金で負担、汚水に6	
平性評価 事	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため	である ⇒【以下 務は一般会計から り公平である。	に理由を記入】 らの繰入金で負担、汚水に6	
平性評価 事特	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 になし	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。	に理由を記入】 らの繰入金で負担、汚水に位	
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 になし 評価結果の総括と今後の方向性(2)	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。	に理由を記入】 らの繰入金で負担、汚水に位 題は? ETION)	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか?	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 の事務事業の課	に理由を記入】	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても ・ 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま
平性評価 事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 になし 評価結果の総括と今後の方向性(2)	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。	に理由を記入】	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いるの水域の水質をきれいに保つために、市町
平性評価事特 3	 京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になし 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 の事務事業の課 見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に依めにない。 ETION) (2) 全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それ村のわくを越え、広域的	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いるの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい
平性評価事特 3	条地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか?	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 の事務事業の課	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に依めに受ける。 ETION) (2) 全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それ村のわくを越え、広域はる。またその施設の建	《る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 付かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。
平性評価 事特 3	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にない 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 の事務事業の課 見直し余地あり 見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 題は? (2) 全体総括(振り返り 流域下水道とは、河川 たがっているため、それ 村のわくを越え、広域的 る。またその施設の建 そのため、国立市単独	《る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、及省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体
平性評価 事特 3	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性証をなし 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 通	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているた。 次年度計画と 切 □	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり 見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 題は? (2) 全体総括(振り返り 流域下水道とは、河川 たがっているため、それ 村のわくを越え、広域的 る。またその施設の建 そのため、国立市単独 で考え、行動する必要	《る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、及省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体
平性評価事特 3	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にない 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているた。 次年度計画と 切 □	である ⇒【以下 務は一般会計から か公平である。 の事務事業の課 の事務事業の課 見直し余地あり 見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 題は? (2) 全体総括(振り返り 流域下水道とは、河川 たがっているため、それ 村のわくを越え、広域的 る。またその施設の建 そのため、国立市単独 で考え、行動する必要	《る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、及省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にない 「評価結果の総括と今後の方向性(ご) 「対容し 「対容し 「対容し 「対容し 「対容になるとしての評価結果 「」公共関与妥当性 「」公共関与妥当性 「」図 「図 「対応をしての評価結果 「」公共関与妥当性 「」図 「図 「図 「対応をしての評価がまます。」 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているた。 次年度計画と 切 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 題は? (2) 全体総括(振り返り 流域下水道とは、河川 たがっているため、広域 る。またその施設の建 そのため、国立市単独 で考え、行動する必な選 また東京都の適切な選	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いるの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性証にない 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているた。 次年度計画とう 切 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 ・の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性にない 「評価結果の総括と今後の方向性(ご) 「対容し 「対容し 「対容し 「対容し 「対容になるとしての評価結果 「」公共関与妥当性 「」公共関与妥当性 「」図 「図 「対応をしての評価結果 「」公共関与妥当性 「」図 「図 「図 「対応をしての評価がまます。」 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「図 「	✓ 公平・公正 雨水に係るため いるため いるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいるため でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	系る債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いるの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性でないないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでないでな</u>	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 置営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	※ 及省点) 、 放などの水域が多くの場合複数の市町村にま
平性評価 事特 3(1) (3)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	
平性評価 事特 3(1) (3)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点)、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「スト」 「同」 「同」 「成雑」 「ロ」 「成雑」 「ロ」 「以維持」増加
平性評価 事特 3(1) (3)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	
平性評価 事特 3(1) (3)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点)、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「スト」 「同」 「同」 「成雑」 「ロ」 「成雑」 「ロ」 「以維持」増加
平性評価 事特 3(1)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? <u>務事業コスト、効率性評価、公平性にないないではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?</u> <u>務事業コスト、効率性評価、公平性ではない。</u> 「公本し 「一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	✓ 公平・公正 雨水に係る債 らっているため 評価から見たこ 次年度計画とう 切	である ⇒【以下 ・務は一般会計から ・分公平である。 の事務事業の課 ・の事務事業の課 ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見直し余地あり ・見である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域下水道とは、河川たがっているため、それがのわくを越え、広域はる。またその施設の建そのため、国立市単独で考え、行動する必要また東京都の適切な過る行動を積極的に行う	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点)、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「スト」 「同」 「同」 「成雑」 「ロ」 「成雑」 「ロ」 「以維持」増加
平性評価 <u>事</u> 特 <u>3 (1)</u> (5)	京地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性 になし 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 対適 ② な平性 ② 対応 ③ 効率性 ② 対応 ③ 対率性 ② 対応 ③ 対率性 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ③ 対応 ② 対応 ② 対応 ② 対応 ② 対応 ③ 対応 ②	マース で	である ⇒【以下である。 ⇒【以下である →【以下である。 ⇒【以下である。 → ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使用を記入】 (2)全体総括(振り返り流域ででいるため、ためにのである。またその施立である。またその施立で考え、行動するのにが、行動するので考え、京都極的に行うまた東京都極的に行う	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点)、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「スト」 「同」 「同」 「成雑」 「ロ」 「成雑」 「ロ」 「以維持」増加
平性評価 <u>事</u> 特 <u>3</u> (1) <u>3</u> <u>1</u> <u>1</u> (5)東	京都の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マース で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	である ⇒【以下 ・	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 (2)全体総括(振り返り流域ででいるため、ためがのわくを越え、設成の建せで考え、行動する必なで考え、京都極的に行う (4)対している。またその施立市単独で考え、京都極的に行う (5)対しているがある。	、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 で営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事特 3(1) (3) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	京都の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マース で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	である ⇒【以下 ・	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 (2)全体総括(振り返り流域ででいるため、ためがのわくを越え、設成の建せで考え、行動する必なで考え、京都極的に行う (4)対している。またその施立市単独で考え、京都極的に行う (5)対しているがある。	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、反省点)、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 運営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「スト」 「同」 「同」 「成雑」 「ロ」 「成雑」 「ロ」 「以維持」増加
平性評価 事特 3(1) (3) 1 1 1 1 1 1 1 1 1	京都の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	マース で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	である ⇒【以下 ・	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 (2)全体総括(振り返り流域ででいるため、ためがのわくを越え、設成の建せで考え、行動する必なで考え、京都極的に行う (4)対している。またその施立市単独で考え、京都極的に行う (5)対しているがある。	、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 で営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事特 3(1) (3)) (5) 東それ	京都の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	✓ な で	である ⇒【以下 ・ 務は一般会計が ・ 一般会計が ・ 一の事務事業の課 ・ 一の事務の反映)(AC ・ 日本の事務事業の課 ・ 一の事務の反映)(AC ・ 日本の事務事業の課 ・ 一の事務の反映)(AC ・ 日本の事務事業の課 ・ 一の事務の反映)(AC ・ 日本の事務を ・ 日本の事務を ・ 一の事務を ・ 一のを ・ 一のののでは ・ 一ののでは ・ 一ののでは ・ 一ののでは ・ 一のでは ・ 一のでは ・ 一できるが、 ・ こくるが、 ・ こくるが、 ・ こくるが、 ・ こくるがは ・ ことるがは ・ ことるがは ・ こくるがは ・ こくるがは ・ ことるがは ・ ことるがは ・ こくるがは ・ ことるがは ・ ことを ・ ことを ・ ことを ・ ことを ・ ことを ・	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 (2)全体総括(振り返り) だがっているため、たれがのわくを越え、設っているため、行動立方の距立市必必で考え、京都極的に行う (3)対け、大がのかくを越れているが、で考え、京都を前の適切に行う (4)対対のから、またである。 (5)対対のが、では、できないである。 (6)対対が、できないである。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)がある。 (7)があ	、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 で営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「内」 は維 日加 成業 日加 成業 日加 の 本 明会が開催されており、市町村別の資料も提供さ
平性評価 事特 3[1] [3]] [4] [5] 東それ [6] [6] [6] 日本 [7] 日本 [8] 日本 [8] [8] 日本 [8] [8] 日本	京地 事業の内容が一部の受益者に偏ってして不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか。 評価結果の総括と今後の方向性(2) 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 有効性 ③ 対率性 ② 有効性 ③ 対率性 ② 有効性 ② 方向性(改革改善差) □ 適適 □ 方のため、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	✓ な	である ⇒【以下 ・	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使 (2)全体総括(振り返り流ががっているため、広の進いである。またその施立するのため、気動するのため、で考え、京都の適切に行うを対しても、また事を積極的に行う 「対してもを関する必要がある。 「対してもを対しているとのがある。 「対してもを対しているとのがある。 「対してもを対しているとのがある。 「対してもを対しているとのである。 「対してもを対しているとのである。 「対してもを対しているとのでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないできないできない。 「は、これば、これできないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	、反省点) 、湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 りかつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 で営を担保するため、協議や情報提供などを求め 必要がある (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「ストー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
平性評価 事特 3[1] [3]] [4] [5] [6] 施正	京・地 事業の内容が一部の受益者に偏ってして不公平ではないか?受益者自担が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になっているか? が公平・公正になっているか? 務事業コスト、効率性評価、公平性になった。 「会後の方向性」では、適適適適適適適適適適適適値では、必要性のでは、必要を実現する上で解決する。 「会後の事業の方向性」では、当事業統廃事業のやり方改善の方の性は改革改善を見現状維持(従来通りで特に改革改善をしまが、対している。 「会後の事業の方向性」では、対している。 「会後の事業の方向性」では、対している。 「会に、事業のやり方改善の方の性」では、対している。 「会に、事業のをします。 「会に、事業のをします。 「会に、事業のをします。 「会に、事業のでは、また。」では、また。ことになる。 「会に、事業のをします。」 「会に、事業のをします。」 「会に、事業のではない。」 「会に、事業のでは、事業のではない。」 「会に、事業のではない。」 「会に、事業のでは、	マート () と) と で で で で で で で で で で で で で で で で	である ⇒【以下である。 ⇒【以下である → 【以から → 【以から → である。 ⇒ 第本の → である。	に理由を記入】 の繰入金で負担、汚水に使いなで負担、汚水に使いない。 (2)全体総括(振り返り流ががったがあるえ、改成でするのため、に動立するのがで考え、京都を動からで考え、京都を動いに行うを対して、またの事を積極的に行うを対して、またの事をである。 (本れば目標が達成されたこも重要であるため、工事自代を対して、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	スの債務は下水道使用料で使用者に負担しても 、 反省点) 、 湖などの水域が多くの場合複数の市町村にま いらの水域の水質をきれいに保つために、市町 内かつ効率的な下水の排除、処理を目的としてい 設等は東京都の運営とされている。 だけでは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 ででは成果に限界があり、多摩流域地域全体 がある。 ではたりますか。また、見直し・廃止となりますか?

由;	数重撃々	No.	务事業マネジメント 「 _{滋婦下水流}				<u>,, ,, ,, ,, , , , , , , , , , , , , , </u>	•	←実施計	ロノ 画上の重点 <u> </u>		に該当するは	
	务事業名 	17 No.	流域下水道				-	=-=	策		ら該当項	目を選択して	ください
	改策名 	4 No.	4 ま [‡]					所属		都市整備部			下水道語
	拖策名 —————	27	施策27					所属	係	水道業務位	系 <u>主</u> 幹	名 佐伯	喜重郎
予	算科目	会計 下水	款 項 目 0 1 0 3 0 1 2	∓ 0 0	0 8	F 0 0 0		法令	12.72	道法第31条の2、東京都		撃二号処理区の維持管理	豊大関する申合も
	事業期間		単年度のみ	L	単年月	を - — — — — — — — — — — — — — — — — — — —			$-\bot$	間限定複数年歷 (年度 ~	年度)
			<mark>限定複数年度事業は全体像</mark> 営するのではなく、流域下水道			市錦町下水丸		この事	業を開始	した経緯(い	つ、どのような	は経緯で開始	したか)
に保つため :市の下水処 1ha)、そのが [38円/㎡ については いる。 見状把握の部 長数事業の 三段(主な活 26年度の実 多摩二号水平	こ、市町村のわ 理については一 心理については ² 有収水量(検針 ² (PLAN)(DO) (PLAN)(DO) (PLAN)(DO) (PLAN)(DO) (PLAN)(DO) (PLAN)(DO) (PLAN)(DO)	くを越え、広域的か。部地域を除いて北ま その下水処理費用と で把握)、雨水につい で把握)、雨水につい に行った主な活動) 面設の適切な維持管	复数の市町村にまたがってい つ効率的な下水の排除、処理 多摩二号水再生センターで行 して東京都に維持管理負担 いては3市の面積割で水量を 理を行うために負担金を支払 号処理区3市の面積割により	里を1 行って 金 分配 いう。	目的というだい。 におり(いう形 にし、処	したものである 北多摩二号炉で支払ってい 理単価をかけ	。 1理区域7 る。処理 で支払を	、	引として、	処理単価をか	*け支払われ	5.	
度と同様 象(誰、何る 摩二号処理 立市青柳の		市民					図(この事 非水をきれい			象をどう変える	のか)		
<u>·指標等の推</u> 項					単位					平成26年度			
		負担額	- <u>1</u> 110	ア		(決算)	(決 算) 367,566,78	_		(決算見込み)(B) 379,513,334		(目標値)	(B)-(
手段	事業の活動量を表す 指標)	流入水量		<u>・</u> イ			9,672,810		,444,583		10,200,000		••••••
対象	対象指標(対象	処理区域内人口]	ア	.		73,14	5	73,080	73,296	73,296		
~\mathrew{\sigma}	の大きさを表す指標)	サオルディー・		1							-		
意図 📥	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	水流水質のBO	D値(水質汚濁量)	ア	.		<u> </u>	2	3	8	8		
¢+ == 📥	上位成果指標	加流水質のBO	D値(水質汚濁量)	ア				+					
結果 🗬	(結果の達成度を表 す指標)	雨水整備率(雨水	く処理面積/計画面積×10)(イ									•
務事業コス	トの推移				単位	平成23年度	┃平成24年月		成25年度	平成26年度	平成27年度	┃目標年度	差額
		項目 	規職員従事人数		単位 人	(決算)	(決算)		文算)(A)	(決算見込み)(B) 1	(当初予算) 1	(目標値)	(B)-(
			延べ業務時間		時間		98	8	98	98	98		
			幽堂 1 佐 		7.11		404		400	400	400		
	系るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		千円 人		490	0	490	490	490	0	
	.,. w=r+1	再任月	延べ業務時間 用職員人件費計(D)		時間 千円		(0	0	0	0	0	
			託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間								
		嘱託	職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千円 千円		490	0	0 490	0 490	0 490	0	
			物件費うち委託料		千円						100		
物に	系るコスト		維持補修費		千円								
		物に	係るコスト計(G)		千円		(0	0	0	0	0	
			扶助費 補助費等		千円 千円		367,56	7	358,895	379,514	400,000		20,
移転支	出的なコスト		繰出金 その他		千円 千円								
		移転支	区出的なコスト計(H)		千円		367,56	7	358,895	379,514	400,000	0	20,
7	の他		その他		千円								
		支出計(I)=(F)+(G))+(H)		千円		368,05	1	359,385	380,004	400,490	0	20,
		国庫支出金 都支出金			千円 千円								
		分担金及び負担	金		千円								
		使用料及び手数 繰入金	. 		千円								
		その他			宇円								
		収入計(J)	^		千円		·	0	0	0	0	0	00
	Ц	区支差額(K)=(J)−(I 一般財源投入割合	y .		千円		-368,05	1	-359,385	-380,004	-400,490	#DIV/01	-20

共 関	① 公共関与の妥当性	見	直し余地がある		理由を記入】	→3 改革·改善	善 方向の部に反映
	なぜこの事業を行政が行わなければ		そ当である 道の管理は市の		理由を記入】 環境の保全や効響	率性を考えたときに <i>位</i>	広域的に処理する流域下水道を利用
	らないのか?税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か? つ、行政が行うとした場合、国・都がう事業か、それとも市が行う事業か?	か テ	ことが望ましい。				
	② 成果の向上余地]上余地がある]上余地がない		理由を記入】 理由を記入】	⇒3 改革・改善	善 方向の部に反映
のな	、果を向上させる余地はあるか?成 ・現状水準とあるべき水準との差異 いか?何が原因で成果向上が期行 きないのか?	果 国立 は 流れ りたい	市では大部分の 込んでしまってレ	地域で合流さるが、雨水に	式下水道を利用し 二関しては使用料	収入がなく、処理費用	には大量の雨水が水再生センター・ 用のみかかるものなので、軽減化を[たの推進などにより、効果がでてくるも
(③ 廃止・休止の成果への影響	景	/響無 ⇒【以下	に理由を記え	【】 ⇒3 改革	車・改善方向の部に原	之 映
(事務事業を廃止・休止した場合の影 の有無とその内容は?(そもそも、こ 事業は、施策の目的や公益の増進(殳立っているか?)	၈ ြ			E及び水質環境 <i>σ</i>)悪化となる。	
育目 ケ月日	④ 類似事業との統廃合・連携の 能性 目的を達成するには、この事務事業 外他に方法はないか?類似事業との 廃合ができるか?類似事業との連携 図ることにより、成果の向上が期待で るか?	以の統と他を類似	に手段がある 新廃合・連携が 新廃合・連携が 就序合・連携が はに手段がない 事業は、ない。	できる = できない =]な手段, 事務事: →【以下に理由をi →【以下に理由をi 理由を記入】	記入】 ⇒3 改革	革・改善方向の部に反映
	動指標・対象指標・成果指標の推	移、公共	関与性評価、有	効性評価か	ら見たこの事務事	業の課題は?	
	に無し						
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の研保余地 保余地 成果を下げずに事業費を削減できなか?(仕様や工法の適正化、住民の 力など) さらなる歳入を確保できないか?	い 処理 協 つなが	季業費削減(歳入確 費用を下げるたど がるのではないか	選保)余地がな り めに、流入雨 いとは思う。 た		!を記入】 要があり、そのための 定に関しては、流入	⇒3 改革・改善方向の部に反映 雨水浸透の推進が事業費の削減に 雨水量を3市の面積割で按分している。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削 余地		川減余地がある		理由を記入】	⇒3 改革・改善	善 方向の部に反映
J 1 1	ボ地 やり方を工夫して延べ業務時間を削 できないか?成果を下げずにより正 員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	減報告が、当	減余地がない 及び支払業務だ 減余地がない。	が使用料収	理由を記入】 入と密接な関係カ	ぶり、全体の流れを	把握していないとできない業務のた
	⑦ 受益機会・費用負担の適正付余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	火 公 北多月	値し余地がある ◇平・公正である 擎二号処理区域 ダーで処理されて	⇒【以下に の人口普及	理由を記入】 理由を記入】 率は100%であり		き方向の部に反映 その汚水は全て、北多摩二号水再生
ı							
	務事業コスト、効率性評価、公平	性評価か	ら見たこの事務	事業の課題	す?		
1	:	性評価か	ら見たこの事務	事業の課題	<u>ま?</u>		
	ご無し 評価結果の総括と今後の方向性				ON)		
	ご無し 評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果	(次年度	計画と予算へ <i>の</i>)反映)(ACTI	ON) (2) 全体総括(流域下水道とに		
7	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓	 (次年度 適切	計画と予算へ <i>の</i>)反映)(ACTI	ON) (2) 全体総括(1 流域下水道とに たがっているた 村のわくを越え	t、河川、湖などの水 :め、それらの水域の	水質をきれいに保つために、市町
	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ✓ ② 有効性	(次年度 適切 適切	計画と予算への 見直し分 ノ 見直し分)反映)(ACTI < <地あり < <いあり	ON) (2) 全体総括(1 流域下水道とに たがっているた 村のわくを越え る。 そのため、国立	ま、河川、湖などの水 め、それらの水域の 、広域的かつ効率的 な市単独の行動だけっ	な下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域
務に	無し 平価結果の総括と今後の方向性 次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 効率性	(次年度 適切 適切 適切	計画と予算への 見直し分 ジ 見直し分)反映)(ACTI < 地あり < 地あり < 地あり < 地あり	ON) (2) 全体総括(1 流域下水道とに たがっているた 村のわくを越え る。 そのため、国立	は、河川、湖などの水 め、それらの水域の 、広域的かつ効率的	水質をきれいに保つために、市町 可な下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域
	正無し 評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	道切 適切 適切 適切	計画と予算への 見直し分 ジ 見直し分 ジ 見直し分)反映)(ACTI < 地あり < 地あり < 地あり < 地あり	ON) (2) 全体総括(1 流域下水道とに たがっているた 村のわくを越え る。 そのため、国立	ま、河川、湖などの水 め、それらの水域の 、広域的かつ効率的 な市単独の行動だけっ	水質をきれいに保つために、市町 可な下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域 ある。
	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ✔ 今後の事業の方向性(改革改善 廃止	(次年度適適適切家廃 □ がが・連携をしない)	計画と予算への 見直し分 が見直し分 が見直し分 が見直し分 を数選択可 も も も も も も も も も も も も も も も も も も も)反映)(ACTI 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり	ON) (2) 全体総括(4) 流域下水道とにたがっているた村のわくを越える。 そのため、国立地域全体で考え	ま、河川、湖などの水 はめ、それらの水域の 、広域的かつ効率的 で市単独の行動だけで え、行動する必要がな	水質をきれいに保つために、市町 な下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域 ある。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 権持 増加
))	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 ② 令後の事業の方向性(改革改善 廃止 □ 休止 □ 事業紛 廃止 □ 休止 □ 事業紛 現状維持(従来通りで特に改革改善 現状維持(従来通りで特に改革改善 可入水流入量の軽減化。そのために	(次年度) 適適適案廃しな流では をした流では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	計画と予算への 見直し分 が見直し分 が見直し分 の見直し分 を数選択事業のや まのやり方改善のや 書の必要性や、	D 反映)(ACTI 会地あり 会地あり 会地あり 会地あり のようでは のようでは のようでは では では では では では では では では では では では では で	ON) (2) 全体総括(4) 流域下水道とにたがっているた村のわくを越える。 そのため、国立地域全体で考え	ま、河川、湖などの水 はめ、それらの水域の 、広域的かつ効率的 で市単独の行動だけで え、行動する必要がな	水質をきれいに保つために、市町 のな下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域 ある。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)
5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	評価結果の総括と今後の方向性 1次評価者としての評価結果 ① 公共関与妥当性 ② 有効性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性 今後の事業の方向性(改革改善) 廃止 「対・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(次 切 切 切 切 い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計画と予算への 見直し分 「見直し分 」見直し分 「見直し分 「見直し分 「見直し分 「見直し分 「見を必要性や、 「までもり」とその解 ない。当然形 「なれば、当然形	○反映)(ACTI 会地あり 会地あり 地あり 地あり は大学では、 、 大学では、 、 大学では、 大学で 大学で は、 は、 大学では、 大学で	ON) (2) 全体総括(注流域下水道とはたがっているたけのわくを越える。そのため、国立地域全体で考えなが、国立地域全体で考えなが、またしては、かる。市としては、	ま、河川、湖などの水域の、それらの水域の、たな域的かつ効率的、広域的かつ効率的で、大下動性の行動だけで、大行動する必要がある。 と、ででである必要がある。	水質をきれいに保つために、市町 のな下水の排除、処理を目的としてい では、成果に限界があり、多摩流域 ある。 (4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) 「八本・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大

事務事業マネジメントシート (兼 事務事業コスト計算書)

	 孫事業名	No.	北多摩二号幹線					←実施詞	· ロ / 計画上の重点:			
す		18 No.	149年一ヶ针隊	,				策	拟卡勒 /#+		目を選択して	
	政策名 	4 No.		4 まち					都市整備音	·		下水道課
	施策名	27 会計		.策27 下 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・水迫0 事業コー				下水道業務	係 主幹	名 佐旧	喜重郎
-	予算科目	下水	0 1 0 3 0 単年度のみ	1 2 0	ァネコ 0 0 ′ 単年	9 0 0		法令根拠	間限定複数年原	+		
+ 75 + 44 o 100	事業期間			<u> </u>	┖	·及除匹 — — — — —	<u> </u>	' _	→ (昭和42	年度 ~	年度)
北多摩二号朝 言庁との連絡記 事務担当者の 事業費の内訳	:線流域下水道処 掲整を行う。 !研修を行う。)	後子順、肝極。 朔間 理区事業の円滑な道 26から当面の間、免	限定複数年度事業に 重営を図るため、関係 除となった。)	★主体像で 市(国立市	市、立川	市、国分寺市)	及び関係 日 地 村 万	召和42年に北 或幹線排水路 亟的に実施した 及び幹線が稼	台した経緯(い 多摩二号幹線整備の必要性 を。現在は、流 働し、円滑な遺 協議会に名称	排水路建設(を東京都に対 を東京都に対域下水道北多 運営を図るため	足進協議会が けして請願、陳 多摩二号水再 り、北多摩二号	発足し、広 情活動を積 生センター
1) 事務事業の D 手段(主なだ P成26年度の	5動) 実績(平成26年度	に行った主な活動)	△ 坩炭缸收△									
		年度に計画している										
) 対象(誰、何 _{致員}	を対象にしている	6のか) * 人や自然資	資源等						象をどう変える 事業の運営を			
方内全域で、浸		るのか) 域の水質汚濁を防」	止することができる。									
<u>2)各指標等の</u> エ	<u>推移</u> 頁目		 名称		単位				平成26年度			差額
① 手段 🕇		研修会参加人数			ア	(決算)	(決算) ((决 算)(A)	(決算見込み)(B) 8		(目標値)	(B)-(A)
2) 対象 🕏	対象指標(対象の大きさを表す指標)	下水道普及人口]		アイ		73,145	74,381	74,303	74,546		
3) 意図 📫	成果指標(対象 における意図の達成 度を表す指標)	下水道普及率			アイ		100	100	100	100		
4 結果 📫			D値(水質汚濁量) 水処理面積/計画		アイ							
3)事務事業コス	ストの推移					. 平成23年度	■ 平成24年間	町平成25年度	₹ 平成26年度	取成27年度	目標年度	差額
		項目 T	坦聯昌分東 粉		単位	(決算)	(決算)	(決算)(A)	(決算見込み)(B)	(当初予算)	(目標値)	(B)-(A)
		IE.	規職員従事人数 延べ業務時間		人 時間		312	2 312	312	312		0
			######################################							7.500		
)	- 係るコスト	再任	職員人件費計(C) E用職員従事人数		チP 人		1,560	1,560	1,560	1,560	0	0
		再任月	延べ業務時間 I職員人件費計(D)		時間 千P		(0	0	0	0	0
		嘱	託職員従事人数 延べ業務時間		人 時間							
支		嘱託	延べ業務時間 職員人件費計(E) :係るコスト計(F)		千P 千P	9	1,560	0 1,560	_	0 1,560	0	(
支 出 内			物件費		千円	9	1,500	1,500	1,500	1,500	0	(
	「係るコスト		うち委託料 維持補修費		千P 千P	9						(
		<u></u> 物に	「係るコスト計(G)		千円		(0	0	0	0	(
			扶助費 補助費等		千P 千P			5 5	0	0)]-
移転式	と出的なコスト		繰出金 その他		千 千 千 	9						(
		移転支	てい他 (出的なコスト計(H)		千日		Ę	5 5	0	0	0	-5
	その他		その他		千円							(
		支出計(I)=(F)+(G)			千円	4	1,565	1,565	1,560	1,560	0	-5 (
		国庫支出金 都支出金 分担金及び負担			千P 千P							C
汉 入		分担金及び負担	金 - 20		千円	9						(
内		使用料及び手数 繰入金			千P 千P	9						(
		繰入金 その他			宇	9						(
		収入計(J) 収支差額(K)=(J)-(I)		千P 千P		-1,568	, ,		0 -1,560	0	(
		収文左額(N)-(J)-(I 一般財源投入割合	/		<u> </u>		100		-1,560 % 100%	100%	#DIV/0!	

2	評価の部(CHECK) * 原則は事後	評価、ただ	し複数年度	事業は途中部	価				
公共	① 公共関与の妥当性	見直し ✔ 妥当 ⁷		→【以下に →【以下に	理由を記入】 理由を記入】	⇒3 改革・改善	き方向の部に	に反映	
関与	なぜこの事業を行政が行わなければな らないのか?税金を使う必要がある	当である		道法で自治体の	の事業となっており、	浸水防止及び河川	川の水質保	全にもなって	こいるので妥
評	か、民間や受益者ができる事業か?か つ、行政が行うとした場合、国・都が行		v						
価	う事業か、それとも市が行う事業か? ② 成果の向上余地	向上a	余地がある	⇒[IJ汞(=)	理由を記入】	⇒3 改革·改善	まち向の部1	- 巨 吨	
	成果を向上させる余地はあるか?成果	✔ 向上斜	余地がない	⇒【以下に	理由を記入】 で、この水準を維持			-/ X IX	
	成果を同工できる示地はめるが: 成果 の現状水準とあるべき水準との差異は ないか?何が原因で成果向上が期待		一百火は、は	は達成したり	C、二切八平在框杆	U/\$1) 4 U(\$/\$1)/\$V	′ ′°		
	できないのか?		7						
١.	③ 廃止・休止の成果への影響	■ 影響等✓ 影響等	有 ⇒【そ0	下に理由を記え の内容】		改善方向の部に反			
ᇭ	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?(そもそも、この	流域下水 ┃い。	く道に関する	る問題が発生し	た場合、関係市で意	意見調整し、東京都	都へ意見具	申等しなけれ	ればならな
性評	事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか?)								
価									
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性		手段がある 孫合・連携か		」な手段, 事務事業) →【以下に理由を記 <i>〕</i>		苗•改善方向	の部に反映	<u> </u>
	目的を達成するには、この事務事業以 外他に方法はないか?類似事業との紡	紐統	廃合・連携が	ができない =	・【以下に理由を記 <i>】</i> 理由を記入】		- 4671.		
	廃合ができるか?類似事業との連携を 図ることにより、成果の向上が期待でき	類似 事業		一人以下に	生田を記入』				
	るか?				__ <u>\</u>	- C			
冱	動指標・対象指標・成果指標の推移	5、公共関 -	51生評価、	有効性評価か	っ見たこの事務事業	の課題は?			
	⑤ 事業費の削減余地・歳入の確 保余地	事業領	費削減(歳入	確保)余地がな	る ⇒【以下に理由を ハ ⇒【以下に理由を	記入】	>3 改革•改	善方向の部	に反映
	成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協	1 // - 1	E度から、各	市の負担金は	1万円から5千円に削	削減した。			
効率	カなど) さらなる歳入を確保できないか?								
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減 余地		余地がある 余地がない		理由を記入】 理由を記入】	⇒3 改革・改善	き方向の部に	に反映	
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減 できないか?成果を下げずにより正職	総会や研	F修会へ出版		、件費であり、削減余	や地はない。			
	員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)								
	⑦ 受益機会·費用負担の適正化		A 111. 184. 7	·FNT	····		-	- C n+	
公	余地		∠余地がある 公正である		理由を記入】 理由を記入】	⇒3 改革·改善	ま力 回の部に	-及昳	
平	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか? 受益者負担	直接的に	三受益者負担	担を求める性格	子のものではない。				
評価	が公平・公正になっているか?								
"									
	」 務事業コスト、効率性評価、公平性 になし	評価から見	見たこの事剤	務事業の課題	t ?				
村	12/20								
	評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画	画と予算への	の反映)(ACTI					
	1次評価者としての評価結果			A 1.1 - F 1.1	(2)全体総括(振り 当初は、流域下水	(道の建設促進を			
	① 公共関与妥当性 / 適		_	余地あり	頻繁に行われてい から維持管理の時			普及率100%	となり、建設
	② 有効性 🗾 適		_	余地あり					
	③ 効率性		_	余地あり					
	④ 公平性 / 適	切	見直し	余地あり					
(3)	今後の事業の方向性(改革改善案 廃止 □ 休止 □ 事業統廃			やり方改善(有交	·····································			改善による其 止の場合は	
_	事業のやり方改善(効率性改善) 現状維持(従来通りで特に改革改善をし	事業 <i>σ</i> .	やり方改善	(公平性改善)			****		スト 排加
特	になし							向上	
							成果	維持	0 ×
								低	× ×
/_\	改革、改善を実現する上で解決す	べき課題(壁)とその角	解決策					
			·						
	になし								
	になし								
特(6)	になし <u><目標達成基準、見直し・廃止基準</u> 係市(国立市、立川市、国分寺市) <i>及</i>								